

マイナビ 2025年卒 学生就職モニター調査 8月の活動状況



2024年9月

- 内容 : 就職活動状況の定点調査
- 実施期間 : 2024年8月25日～2024年8月31日
- 調査対象 : 2025年3月卒業予定の全国の大学生、大学院生
- 調査方法 : Web上のアンケートフォームより入力

□モニター属性データ

カテゴリー	有効回答数
文系男子	165
理系男子	279
文系女子	486
理系女子	327
総計	1,257

カテゴリー	有効回答数
関東地区	501
東海地区	145
関西地区	281
上記以外のエリア	330

カテゴリー	有効回答数	
学部	理系: 機電系	33
	理系: 情報系	59
	理系: 土木・建築系	24
	理系: 化学系	20
	理系: 薬学系	68
	理系: その他理系	75
院	理系: 機電系	82
	理系: 情報系	60
	理系: 土木・建築系	22
	理系: 化学系	69
	理系: 薬学系	14
	理系: その他理系	80

【8月のTOPICS】

25年卒学生の強みは「誠実・思いやり(34.0%)」、弱みは「リーダーシップ(30.8%)」 3人に2人の学生が、キャリア形成活動や就職活動を通じてやりたい仕事を発見

25卒学生に30個の選択肢から、自身の強み・弱みにあてはまるものを聞いたところ、強みにあてはまるものとしては、1位「誠実・思いやり(34.0%)」、2位「協調性(31.8%)」、3位「傾聴力(28.0%)」「責任感の強さ(28.0%)」となった。文理男女別に上位回答の特徴をみると、「誠実・思いやり」は理系女子以外、1位だった。文系では男女ともに2位が「協調性」、3位が「傾聴力」の順となっている。「粘り強さ」は理系男子では2位、理系女子では1位と、理系学生の強みとして上位にあがっており、文理で違いがみられた。

やりたい仕事が見つかったのはいつかを聞くと、「キャリア形成活動中(18.5%)」と「就職活動中(47.7%)」あわせて66.2%となり、多くの学生がキャリア形成活動や就職活動の中でやりたい仕事を見つけだしていたことがわかった。「キャリア形成活動開始前(17.1%)」と答えた人も一定数いるものの、初めからやりたい仕事があった学生は少数派だ。やりたい仕事が見つかったきっかけは、「インターンシップ・仕事体験に参加して(26.5%)」が最も高かった。将来のキャリアを見据え、自身の強みや適性を理解することが必要だ。

- (P.14)弱みにあてはまるもの 強みにあてはまるもの
- (P.15)やりたい仕事が見つかったタイミング

■集計方法

全体の数値を算出するにあたり、文理男女別の構成比を2025年3月卒業予定の大学生・大学院生の構成比と等しくする為、文科科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。基準数値は令和5年度学校基本調査(2023年12月公表)の大学3年生・院1年生在籍数を参照し、文理男女比を算出している。
※ウエイトバック集計とはアンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせて重み付けして集計すること。

■各種調査はWEB上でも順次公開中！□■

経営と人材をつなげるビジネスメディア「HUMAN CAPITAL サポネット」<https://saponet.mynavi.jp/>
マイナビキャリアリサーチLab | 働くの明日を考える <https://career-research.mynavi.jp/>
就職指導ご担当者のための総合情報サイト マイナビキャリアサポート <http://mcs.mynavi.jp/>

■□本資料について□■

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

■1:これまでの活動状況

- (1) これまでの活動状況
- (2) WEBでの活動状況
- (3) 【内々定を得たことがある学生のみ】内々定を得た社数

■2:入社予定先企業の決定と内々定辞退について

- (1) 入社予定先の企業から内々定を得た時期
- (2) 内々定を得た後、入社することを決めた時期
- (3) 文系学生の、内々定を得た後、入社することを決めた時期
- (4) 理系学生の、内々定を得た後、入社することを決めた時期
- (5) 【入社予定先を決めている学生のみ】入社予定先企業を選択した際に判断材料となった情報
- (6) 【入社予定先を決めている学生のみ】入社予定先企業について現在どのくらい知っているか(5段階)・理解度が高い順
- (7) 【入社予定先を決めている学生のみ】内々定承諾書の提出状況について
- (8) 【入社予定先を決めている学生のみ】内々定承諾書の捉え方
- (9) 【内々定承諾書を出したことがある学生のみ】内々定承諾書を出した後、内々定を辞退した経験
- (10) 【内々定を得たことがある学生のみ】内々定辞退の経験が「ある」割合
- (11) 【内々定辞退経験がある学生のみ】内々定辞退の連絡をすることについて、どのように感じていたか
- (12) 【内々定辞退経験がある学生のみ】辞退した企業から辞退後の入社予定先を聞かれたことがある割合
- (13) 【入社予定先を聞かれたことがある学生のみ】入社予定先を聞かれて、社名を答えたか
- (14) 【内々定を得たことがある学生のみ】これまでにインターンシップ・仕事体験参加のための選考を受けて受からなかった企業について、その後改めてその企業の採用選考を受けたことはあるか。その結果、内々定を得たことがあるか
- (15) 【前問で「受けたことがある」と回答した学生のみ】インターンシップ参加のための選考に受からなかった企業の採用選考を受けた結果、内々定を得たことがあるか

■3:就職情報サイトについて

- (1) 企業情報を見る上で、注目する(注目した)情報【複数回答】
- (2) 企業情報を見る上で、注目する(注目した)情報・18年卒～25年卒の順位変動

■4:就職活動を振り返って

- (1) 就職活動における情報収集で、SNSを積極的に活用したか
- (2) 【SNSを活用した人】就職活動における情報収集で、実際に活用したSNSすべて【複数回答】
- (3) 就職活動中かばんにいれていたもので「便利だったもの」「役立つもの」／「あつたらよかった」と感じたもの【複数回答】
- (4) 強みにあてはまるもの【複数選択】
- (5) 弱みにあてはまるもの【複数選択】
- (6) やりたい仕事が見つかったタイミング
- (7) やりたい仕事が見つかったきっかけ【複数回答】
- (8) 入社してやってみたい仕事【3つ回答 / 最もやってみたい仕事】
- (9) 仕事の「やりがい」とは何か
- (10) 就職活動の方法は何から学んだか【複数回答】
- (11) 就職活動を始める前に知っておけばよかったこと【複数回答】
- (12) 活動を始めて「もっと早く取り組みればよかった」「時間をかけて取り組みたかった」と思ったこと【複数回答】
- (13) 就活を通じて企業に改善して欲しいと思ったこと【複数回答】
- (14) 「就活の軸」として最も重要だったと思われるフレーズ
- (15) 就職活動を通じて自分自身が成長できたと思うか
- (16) 成長できたと思う部分【複数回答】
- (17) これからキャリア形成活動・就職活動に取り組む後輩に向けて、アドバイスやメッセージ

■5:社会人になるにあたって

- (1) 社会人になるにあたって期待と不安どちらが大きい
- (2) 社会人になるにあたって期待を持っていること【複数回答】
- (3) 社会人になるにあたって不安に思うこと【複数回答】

※調査結果は、小数点第2位を四捨五入しております。そのため、グラフ及び表の和が100.0%にならないものがございます。予めご了承ください。

■6:入社後の働き方について

- (1) 【入社予定先決定者のみ】入社後のその先のキャリアについて、どのように考えているか
- (2) 「人生100年時代」何歳まで働き続けたいか
- (3) 「人生100年時代」今後の働き方として考えに近いもの【複数回答】

■7:あなたの就職活動を漢字一文字で表すと

- ・25年卒(2024年)BEST10
- ・過去10年間の調査結果
- ・文理男女別ランキング
- ・その漢字を選んだ理由
- ・少数回答、ユニークなもの

■8:あなたの就職活動のテーマ曲は？

- ・25年卒(2024年)就活のテーマ曲トップ10
- ・その曲を選んだ理由

■9:あなたの就活をドラマ化するなら主演はこの人ランキング

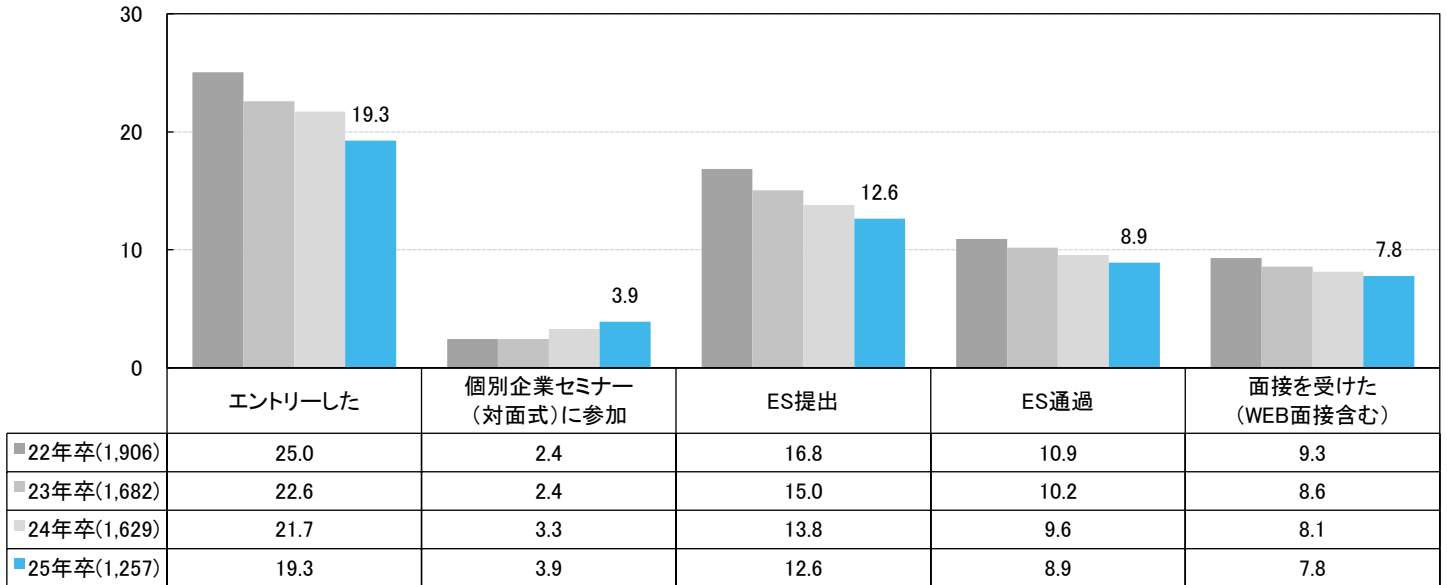
- ・25年卒(2024年)あなたの就活をドラマ化するなら主演はこの人ランキング BEST10
- ・あなたの就活をドラマ化

■1:これまでの活動状況

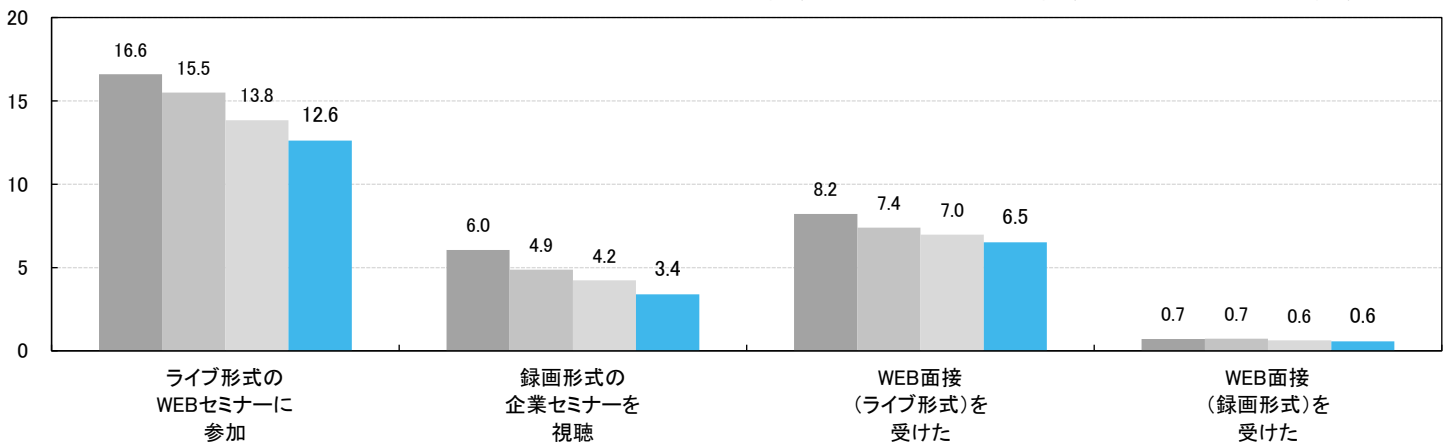
これまでの就職活動の状況について聞くと、「エントリーした（19.3社、対前年2.4pt減）」「ES提出（12.6社、対前年1.2pt減）」「面接を受けた（WEB面接含む）（7.8社、対前年0.4pt減）」など、多くの活動が前年から減少した。唯一、「個別企業セミナー（対面式）に参加（3.9社、対前年0.6pt増）」のみ24年卒以降増加しており、コロナ禍の落ち着きと共に対面の活動が戻ってきている様子が見て取れる。WEBでの活動に注目すると、WEBセミナー（ライブ形式・録画形式）、WEB面接（ライブ形式・録画形式）ともに、年々減少する傾向にあるようだ。

これまでの活動状況【単位:社】

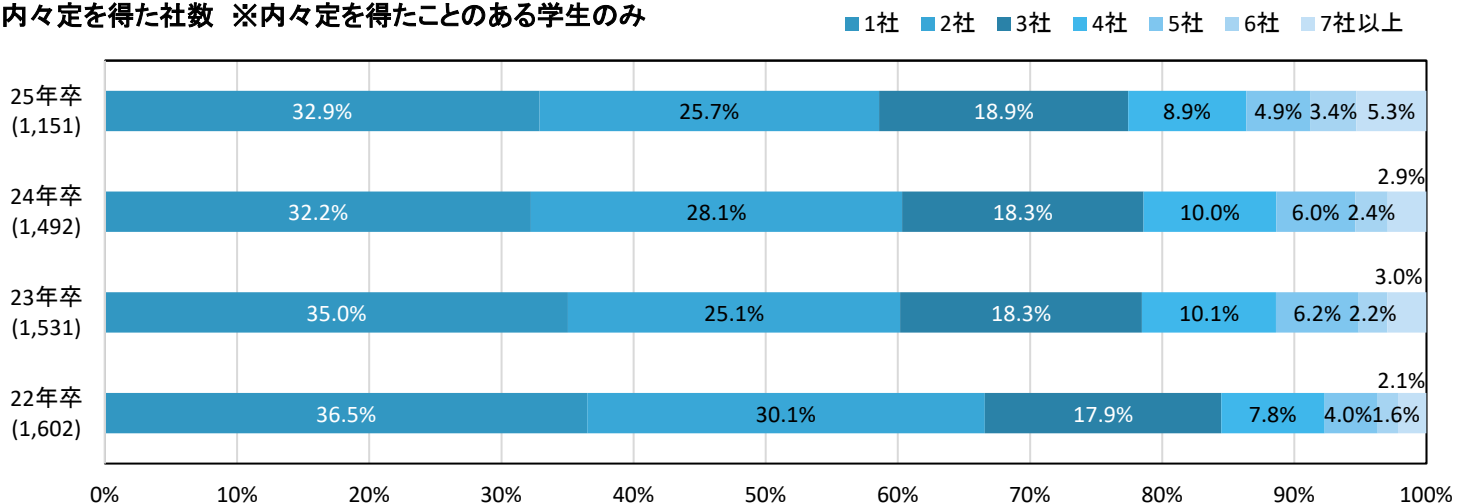
※グラフの数値は25年卒



WEBでの活動状況【単位:社】



内々定を得た社数 ※内々定を得たことのある学生のみ

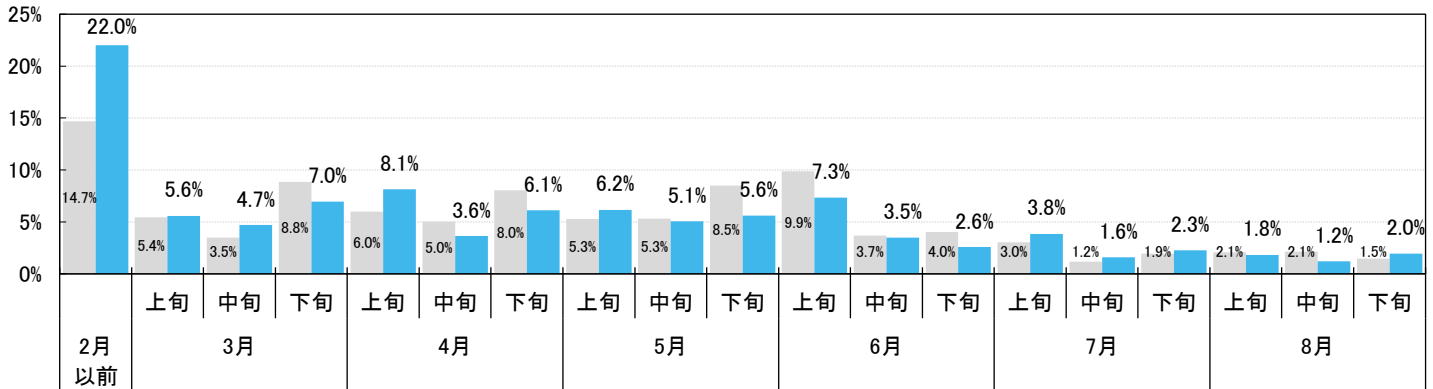


■2: 入社予定先企業の決定と内々定辞退について

入社予定先企業を選択した際に判断材料となった情報を3つ選択してもらくと、前年に引き続き「待遇（給与・福利厚生等）に関する情報」が1位で、53.1%と半数を超える学生が注目していたようだ。最も重視する情報としても「待遇（給与・福利厚生等）に関する情報（19.2%）」が1位となった。入社予定先企業について現在どのくらい知っているかを聞くと、理解度が高い（4・5）のは「勤務地に関する情報」や「待遇（給与・福利厚生等）に関する情報」などで、労働条件に対する理解度が高いことがわかった。

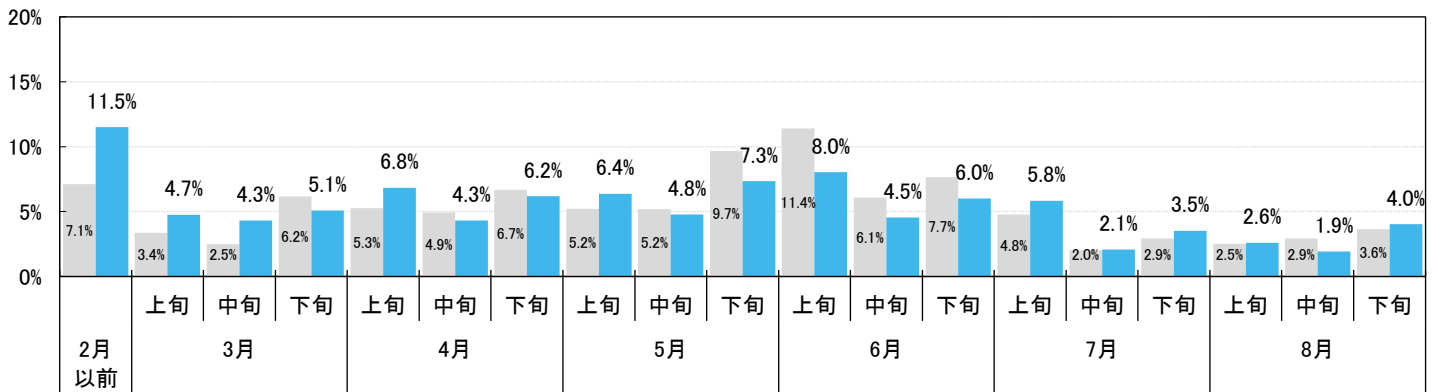
入社予定先の企業から内々定を得た時期

24年卒(1,413) 25年卒(1,095)



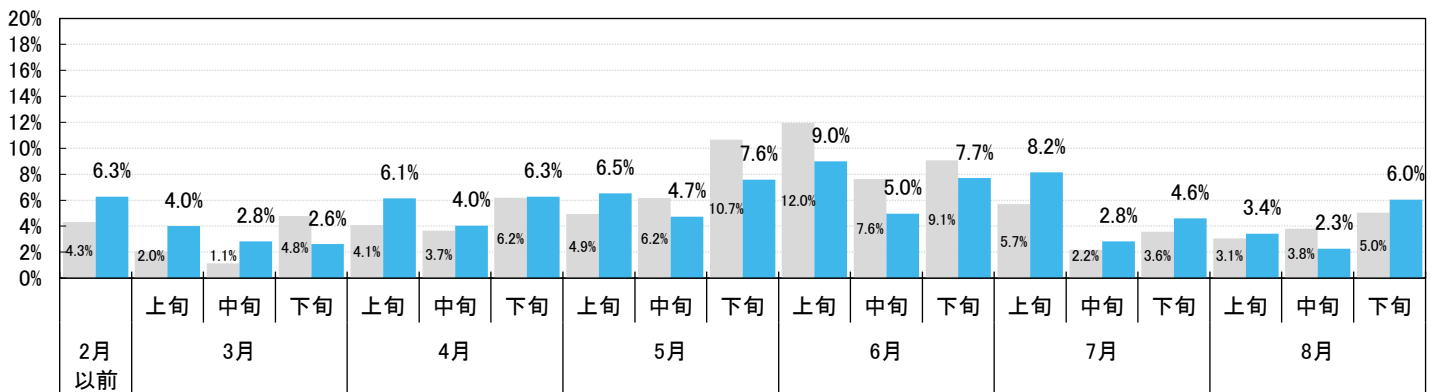
内々定を得た後、入社することを決めた時期

全体 24年卒(1,413) 全体 25年卒(1,095)



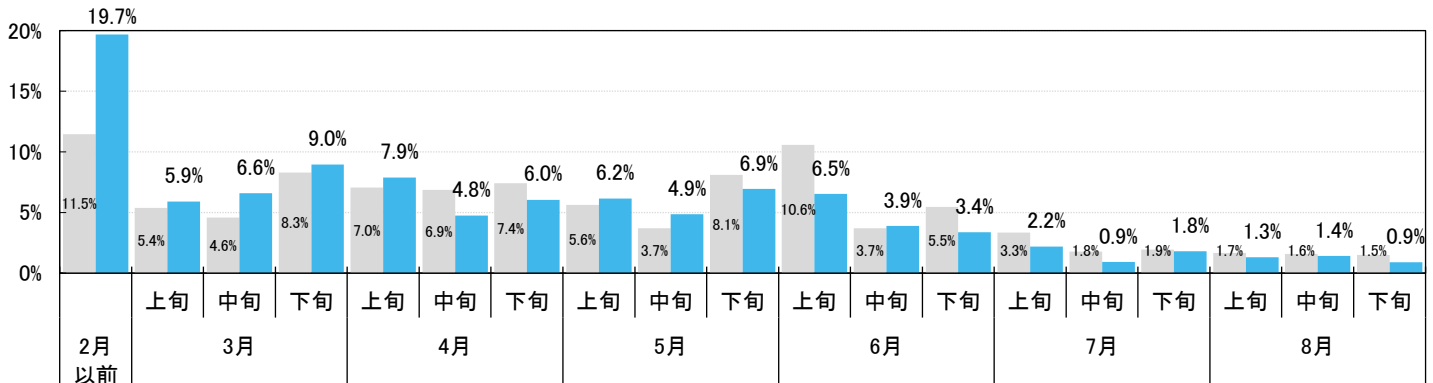
文系学生の、内々定を得た後、入社することを決めた時期

文系 24年卒(645) 文系 25年卒(561)



理系学生の、内々定を得た後、入社することを決めた時期

理系 24年卒(768) 理系 25年卒(534)



【入社予定先を決めている学生のみ】
入社予定先企業を選択した際に
判断材料となった情報

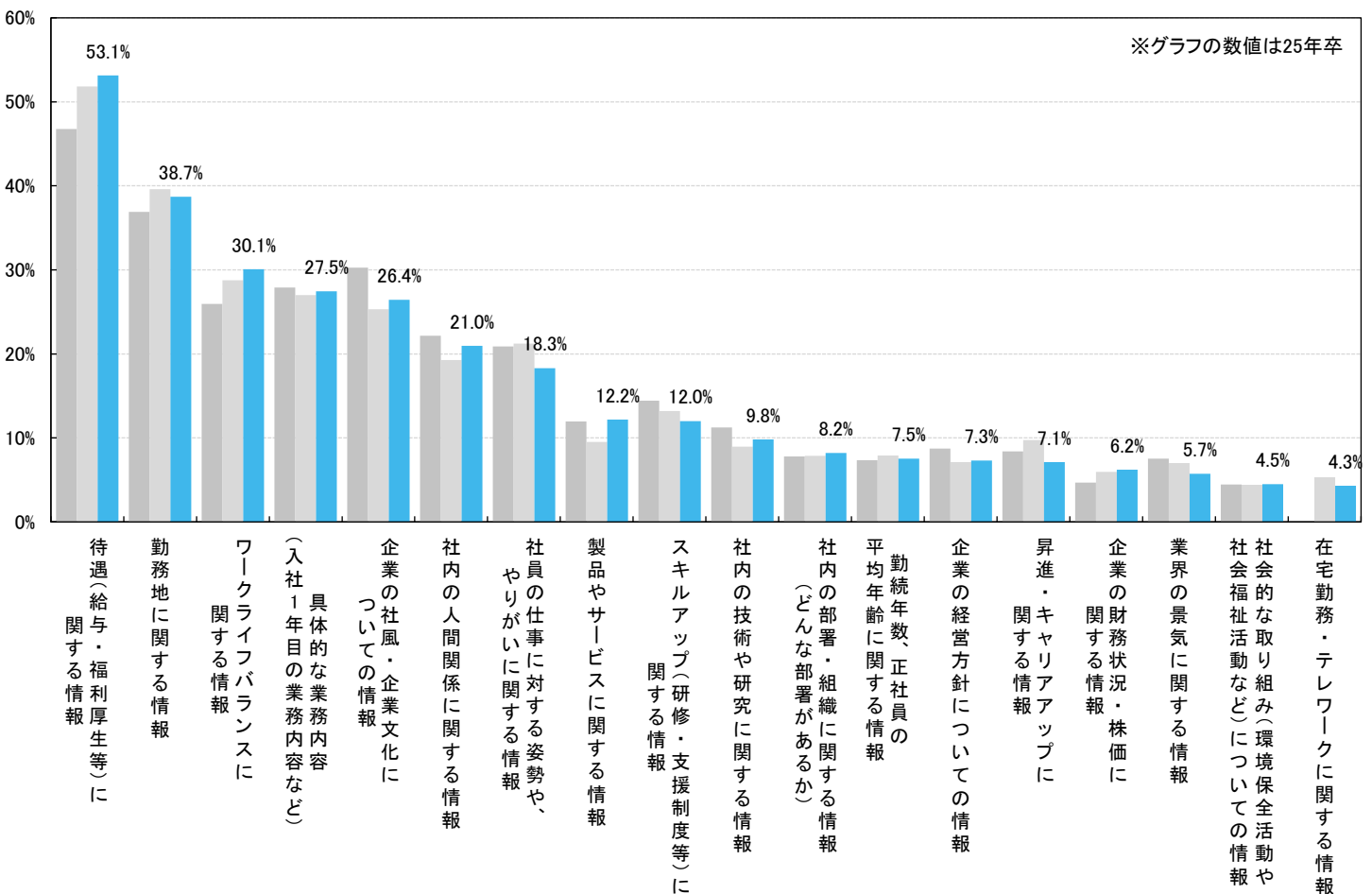
※全体より5%以上差のある文理男女の項目に色づけ

	ベスト3まで選択							最も重視する情報		
	25年卒 順位	24年卒 順位	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	25年卒 順位	24年卒 順位	全体
			1,095	142	243	419	291			1,095
待遇(給与・福利厚生等)に関する情報	1	1	53.1%	57.0%	56.4%	48.4%	49.1%	1	1	19.2%
勤務地に関する情報	2	2	38.7%	33.8%	32.5%	45.1%	46.4%	2	2	13.7%
ワークライフバランスに関する情報	3	3	30.1%	32.4%	24.3%	32.0%	31.3%	4	5	10.2%
具体的な業務内容(入社1年目の業務内容など)	4	4	27.5%	21.1%	26.7%	32.9%	30.6%	3	3	11.7%
企業の社風・企業文化についての情報	5	5	26.4%	24.6%	22.6%	30.3%	28.5%	5	4	9.1%
社内の人間関係に関する情報	6	7	21.0%	20.4%	18.9%	22.7%	22.0%	7	7	5.9%
社員の仕事に対する姿勢や、やりがいに関する情報	7	6	18.3%	18.3%	14.4%	21.2%	18.9%	6	6	6.6%
製品やサービスに関する情報	8	10	12.2%	11.3%	17.7%	9.8%	9.6%	8	9	4.5%
スキルアップ(研修・支援制度等)に関する情報	9	8	12.0%	12.0%	15.2%	9.1%	12.7%	10	8	3.4%
社内の技術や研究に関する情報	10	11	9.8%	5.6%	22.2%	2.9%	12.0%	9	11	3.7%
社内の部署・組織に関する情報(どんな部署があるか)	11	13	8.2%	7.7%	9.5%	8.8%	5.5%	12	14	2.1%
勤続年数、正社員の平均年齢に関する情報	12	12	7.5%	12.7%	4.5%	6.4%	4.1%	15	13	1.1%
企業の経営方針についての情報	13	14	7.3%	11.3%	5.3%	6.9%	3.1%	11	15	2.5%
昇進・キャリアアップに関する情報	14	9	7.1%	9.2%	5.8%	6.0%	7.6%	17	10	1.0%
企業の財務状況・株価に関する情報	15	16	6.2%	9.2%	6.6%	3.3%	5.5%	13	12	1.8%
業界の景気に関する情報	16	15	5.7%	3.5%	9.1%	6.0%	4.1%	18	16	0.9%
社会的な取り組み(※)についての情報	17	18	4.5%	6.3%	4.9%	3.1%	2.7%	14	17	1.7%
在宅勤務・テレワークに関する情報	18	17	4.3%	3.5%	3.3%	5.0%	6.2%	16	18	1.0%

※ 社会的な取り組み:環境保全活動や社会福祉活動など

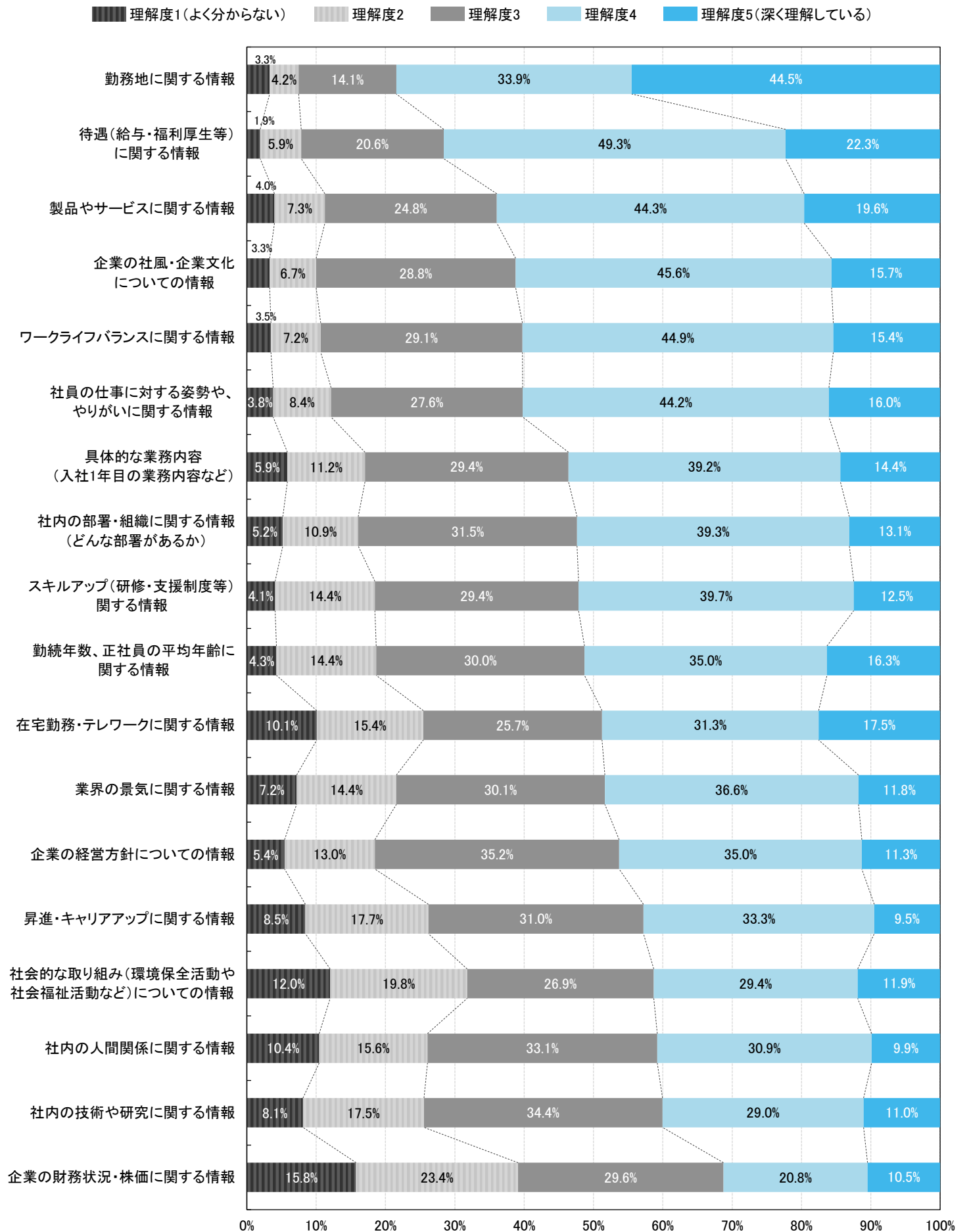
入社予定先企業を選択した際に判断材料となった情報・経年比較

■ 23年卒(1,449) ■ 24年卒(1,413) ■ 25年卒(1,095)



【入社予定先を決めている学生のみ】 n=1,095

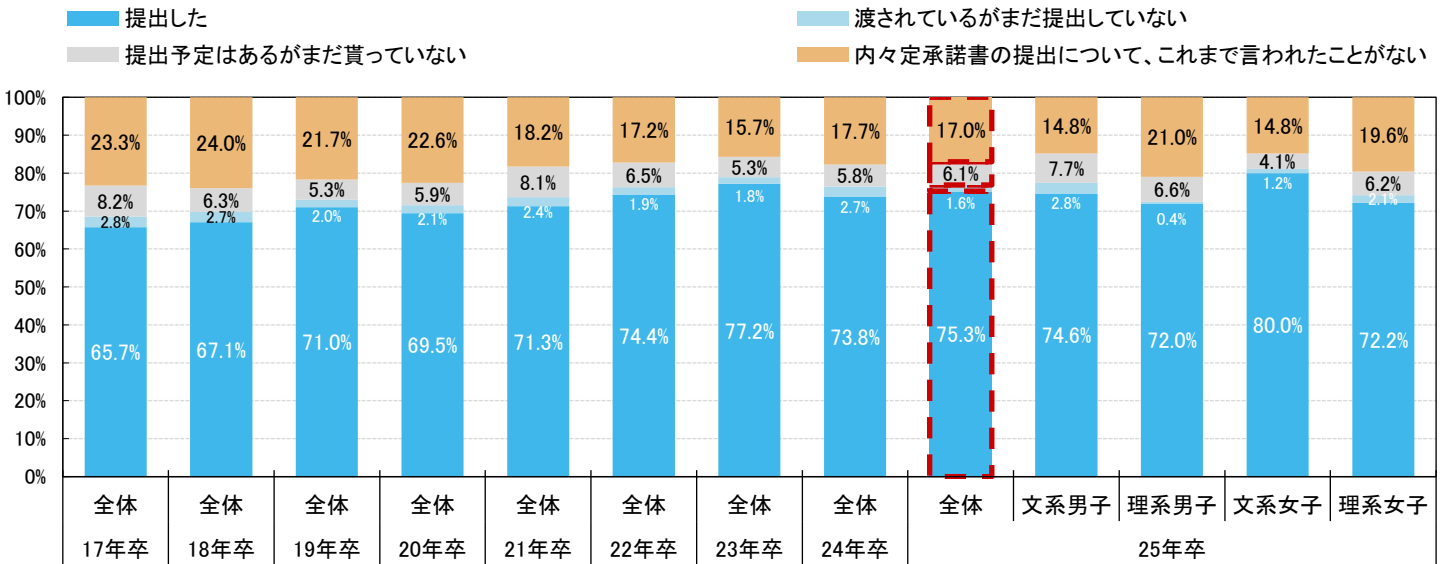
入社予定先企業について現在どのくらい知っているか(5段階)・理解度が高い順(=理解度5 or 4が多い順)



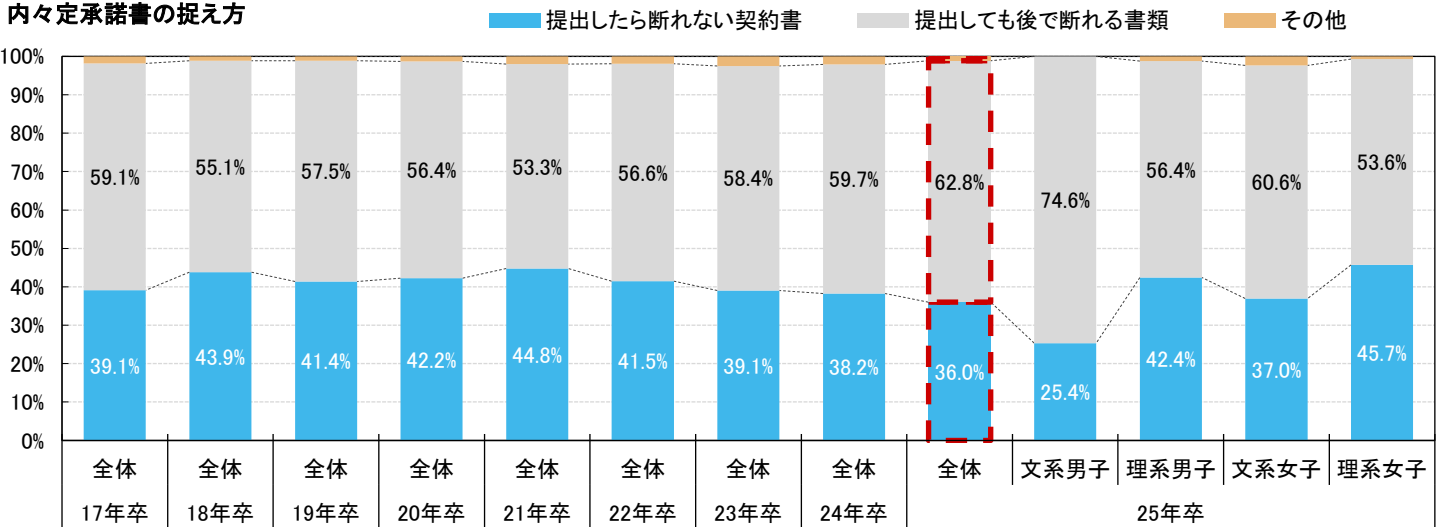
入社予定先を決めた学生のうち、内々定承諾書を提出した学生の割合は75.3%（対前年1.5pt増）で前年よりやや増加した。内々定承諾書の捉え方としては、「提出しても後で断れる書類（62.8%、対前年3.1pt増）」という見方が多数派で、内々定承諾書を出した後、内々定を辞退した経験がある割合は16.1%（対前年1.5pt増）と一定数の学生が辞退していることがわかった。これまでに内々定辞退をしたことのある割合は63.8%（対前年1.8pt減）で、前年から微減となっはいるものの、22年卒以降は6割以上の辞退率が続いている。

▼内々定承諾書について

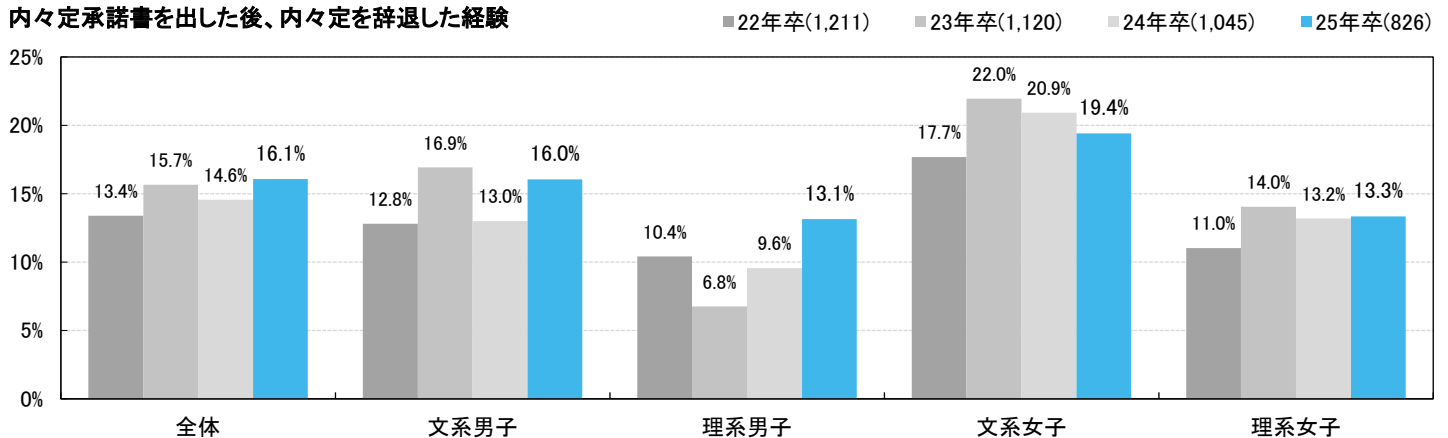
【入社予定先を決めている学生のみ】
内々定承諾書の提出状況について



【入社予定先を決めている学生のみ】
内々定承諾書の捉え方

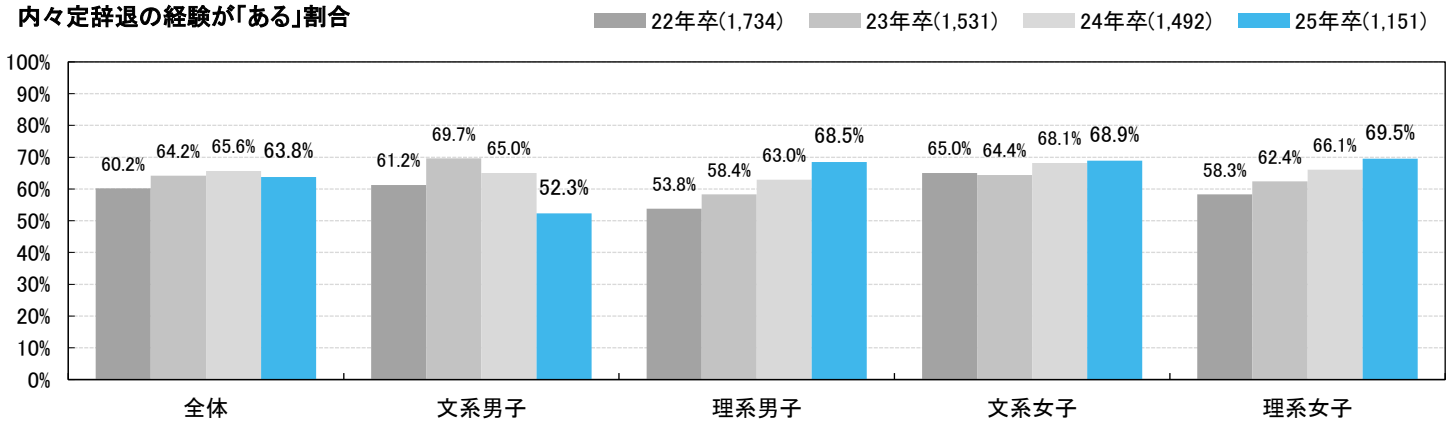


【内々定承諾書を出したことがある学生のみ】
内々定承諾書を出した後、内々定を辞退した経験

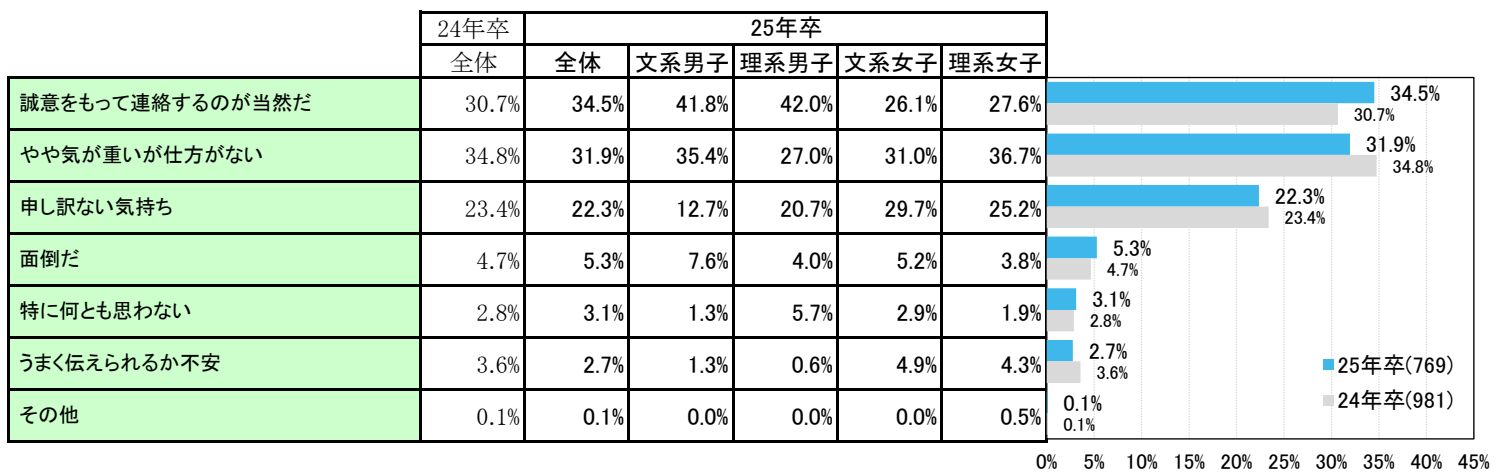


▼内々定辞退について

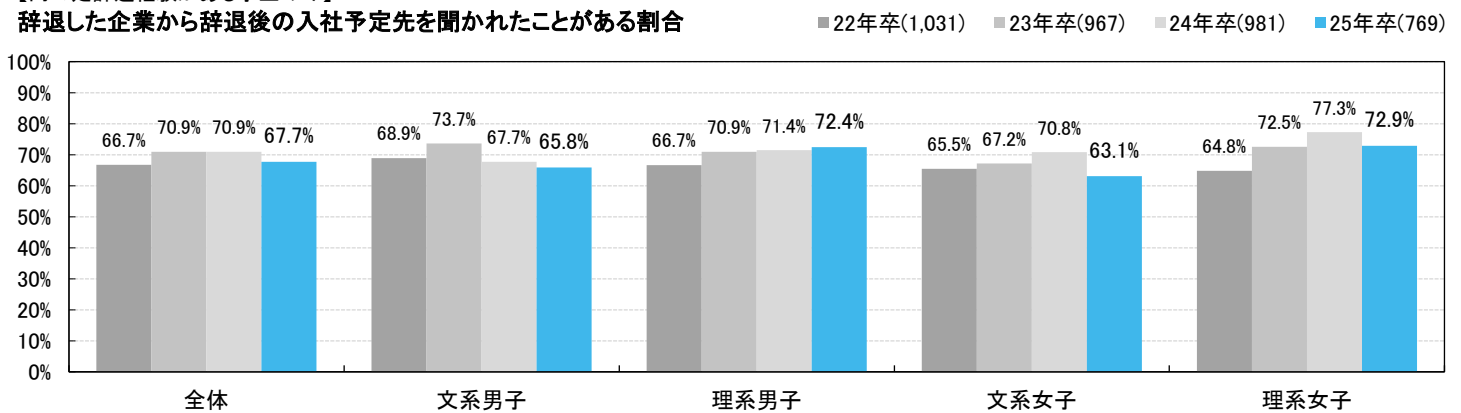
【内々定を得たことがある学生のみ】
内々定辞退の経験が「ある」割合



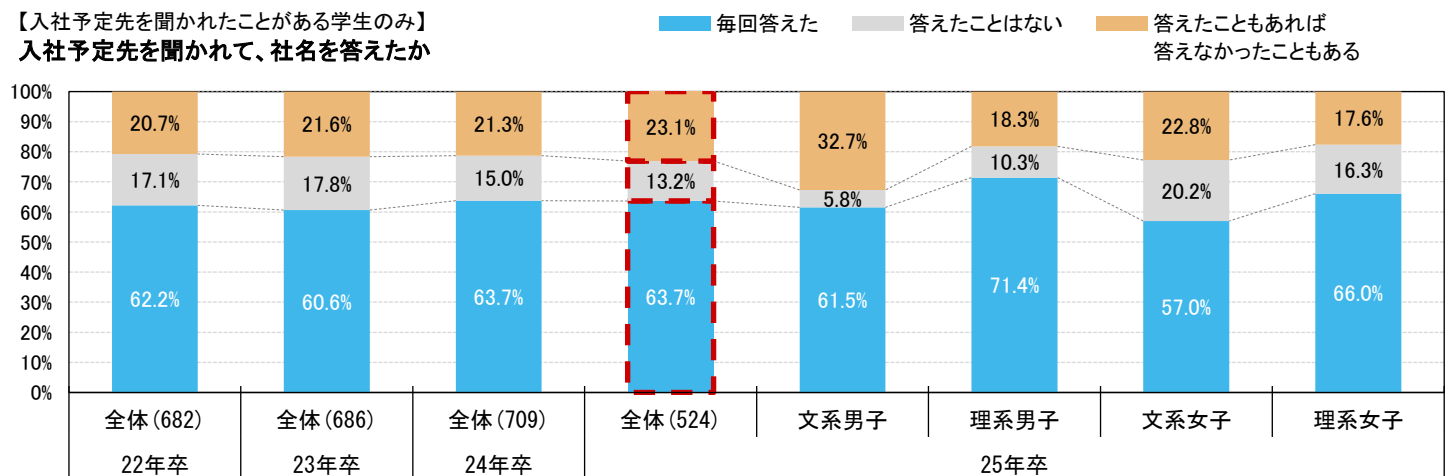
【内々定辞退経験がある学生のみ】
内々定辞退の連絡をすることについて、どのように感じていたか



【内々定辞退経験がある学生のみ】
辞退した企業から辞退後の入社予定先を聞かれたことがある割合



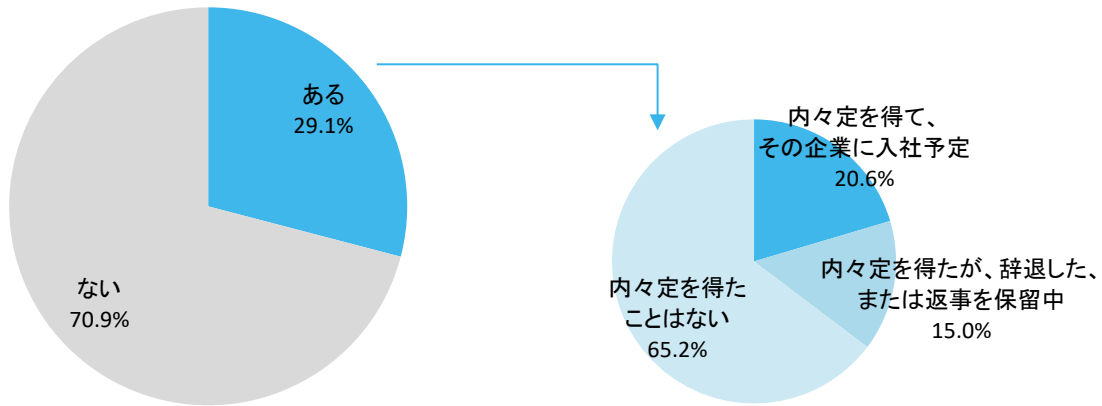
【入社予定先を聞かれたことがある学生のみ】
入社予定先を聞かれて、社名を答えたか



これまでにインターンシップ・仕事体験参加のための選考を受けて受からなかった企業について、その後改めてその企業の採用選考を受けたことがある割合は、内々定を保有する学生のうち29.1%（前年同値）となった。受けたことがある学生のうち、その企業から内々定を得たことがある割合は35.6%（前年比0.8pt増）で、年々増加していることがわかった。

【内々定を得たことがある学生のみ】n=1,151

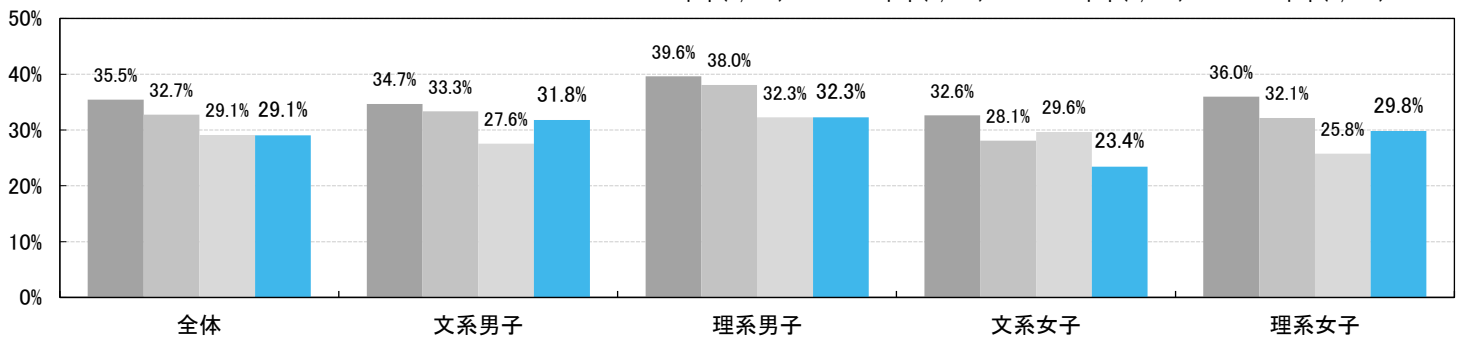
これまでにインターンシップ・仕事体験参加のための選考を受けて受からなかった企業について、その後改めてその企業の採用選考を受けたことはあるか
その結果、内々定を得たことがあるか



【内々定を得たことがある学生のみ】

インターンシップ・仕事体験参加のための選考に受からなかった企業の採用選考を受けたことがある割合・経年比較

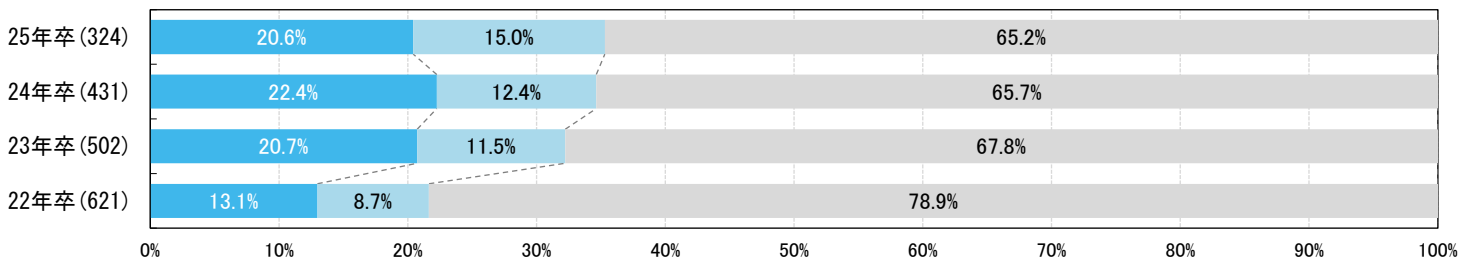
22年卒(1,734) 23年卒(1,531) 24年卒(1,492) 25年卒(1,151)



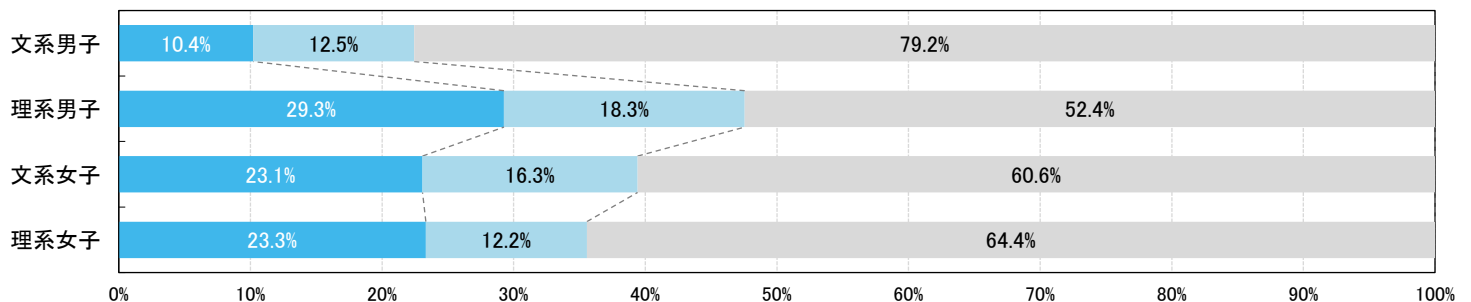
【前問で「受けたことがある」と回答した学生のみ】

その結果、内々定を得たことがあるか・経年比較・文理男女別

内々定を得て、その企業に入社予定
内々定を得たが、辞退した、または返事を保留中
内々定を得たことはない



<25年卒・文理男女別>



■3: 就職情報サイトについて

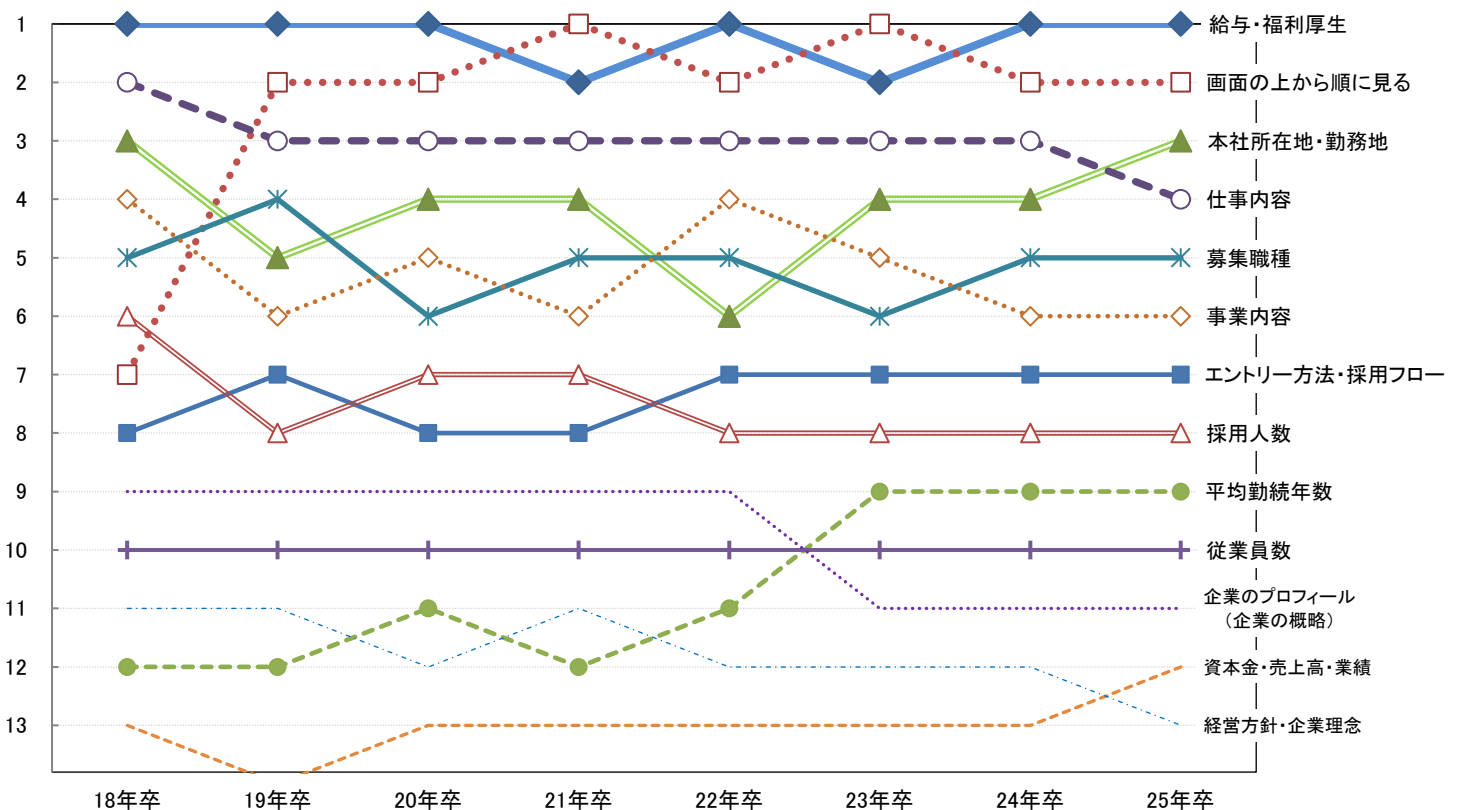
就職情報サイトで企業情報を見る上で、注目する（注目した）情報について、最も高い割合だったのは「給与・福利厚生（55.5%）」で、2番目に高かったのは「画面の上から順に見る（49.6%）」となった。1,2位の順位は前年と変わらず、いずれも約半数の学生が選択していた。文理男女で見ると理系男子が全体より5%以上低い回答となっている項目が多く、就職情報サイトで注目するポイントがあまり多くないことがわかった。

企業情報を見る上で、注目する(注目した)情報【複数回答】

※文理男女で全体より5%以上差のあるものに色づけ

	25年卒 順位	24年卒 順位	23年卒 順位	22年卒 順位	21年卒 順位	25年卒				
						全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
給与・福利厚生	1	1	2	1	2	55.5%	52.7%	50.5%	60.7%	59.3%
画面の上から順に見る	2	2	1	2	1	49.6%	50.9%	48.4%	49.6%	49.2%
本社所在地・勤務地	3	4	4	6	4	44.2%	39.4%	34.1%	54.9%	49.2%
仕事内容	4	3	3	3	3	42.2%	40.0%	34.8%	49.4%	44.6%
募集職種	5	5	6	5	5	42.1%	38.2%	35.1%	49.2%	47.7%
事業内容	6	6	5	4	6	39.8%	40.0%	31.9%	46.3%	38.8%
エントリー方法・採用フロー	7	7	7	7	8	35.0%	33.9%	27.2%	42.6%	34.3%
採用人数	8	8	8	8	7	33.8%	35.8%	28.7%	37.7%	30.0%
平均勤続年数	9	9	9	11	12	30.4%	36.4%	22.2%	32.9%	26.3%
従業員数	10	10	10	10	10	25.1%	26.1%	19.0%	29.4%	24.2%
企業のプロフィール(企業の概略)	11	11	11	9	9	22.5%	23.0%	19.0%	25.7%	20.5%
資本金・売上高・業績	12	13	13	13	13	18.4%	21.8%	20.1%	15.0%	15.6%
経営方針・企業理念	13	12	12	12	11	18.2%	22.4%	9.7%	22.0%	15.9%
平均年齢	14	14	15	17	18	15.9%	22.4%	7.9%	17.1%	12.8%
教育制度	15	15	14	14	14	13.3%	16.4%	9.0%	14.2%	12.5%
先輩情報	16	20	16	15	17	10.8%	9.7%	6.5%	14.0%	13.8%
掲載画像(写真)	17	17	18	20	19	10.7%	13.3%	5.4%	14.8%	5.2%
会社紹介記事	18	16	17	16	15	10.6%	13.3%	8.6%	10.5%	8.6%
採用担当者からのメッセージ	19	19	19	18	16	10.1%	13.9%	4.3%	12.3%	6.7%
取材情報(職場や社員の雰囲気など)	20	18	20	19	20	9.8%	10.9%	5.4%	12.8%	8.6%
企業のキャッチコピー	21	21	21	21	21	6.1%	5.5%	4.3%	7.4%	7.6%
その他						0.6%	1.2%	0.7%	0.0%	0.3%

18年卒～25年卒の順位変動

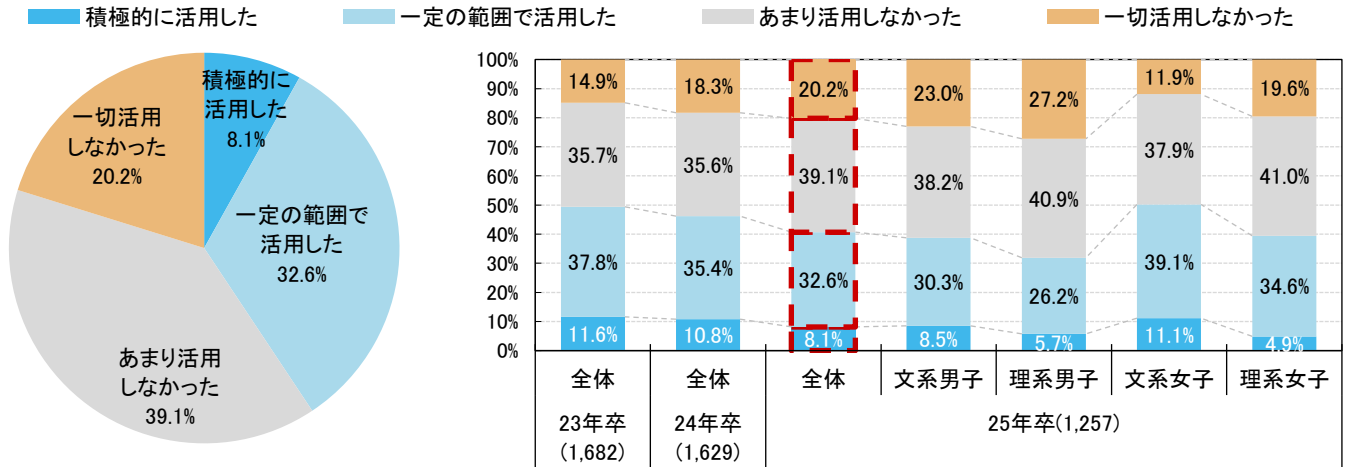


■4: 就職活動を振り返って

就職活動における情報収集で、SNSを積極的に活用したか聞いたところ、「積極的に活用した」は8.1%（対前年2.7pt減）、「一定の範囲で活用した」は32.6%（対前年2.8pt減）で、合わせて40.7%（対前年5.5pt減）となった。日常生活でSNSを活用する機会が多い世代であることが想定されるが、就職活動での利用は2年連続で減少した。

実際に活用したSNSで最も割合が高かったのは「X (Twitter) (68.2%、対前年0.5pt増)」だった。2位の「YouTube (47.8%、対前年7.7pt減)」、3位の「Instagram (45.2%、対前年4.0pt減)」、4位の「LINEオープンチャット (31.0%、対前年3.9pt減)」までは比較的活用割合が高い。5位の「TikTok (15.3%、対前年10.0pt増)」は最も回答率が増加していた。

就職活動における情報収集で、SNSを積極的に活用したか



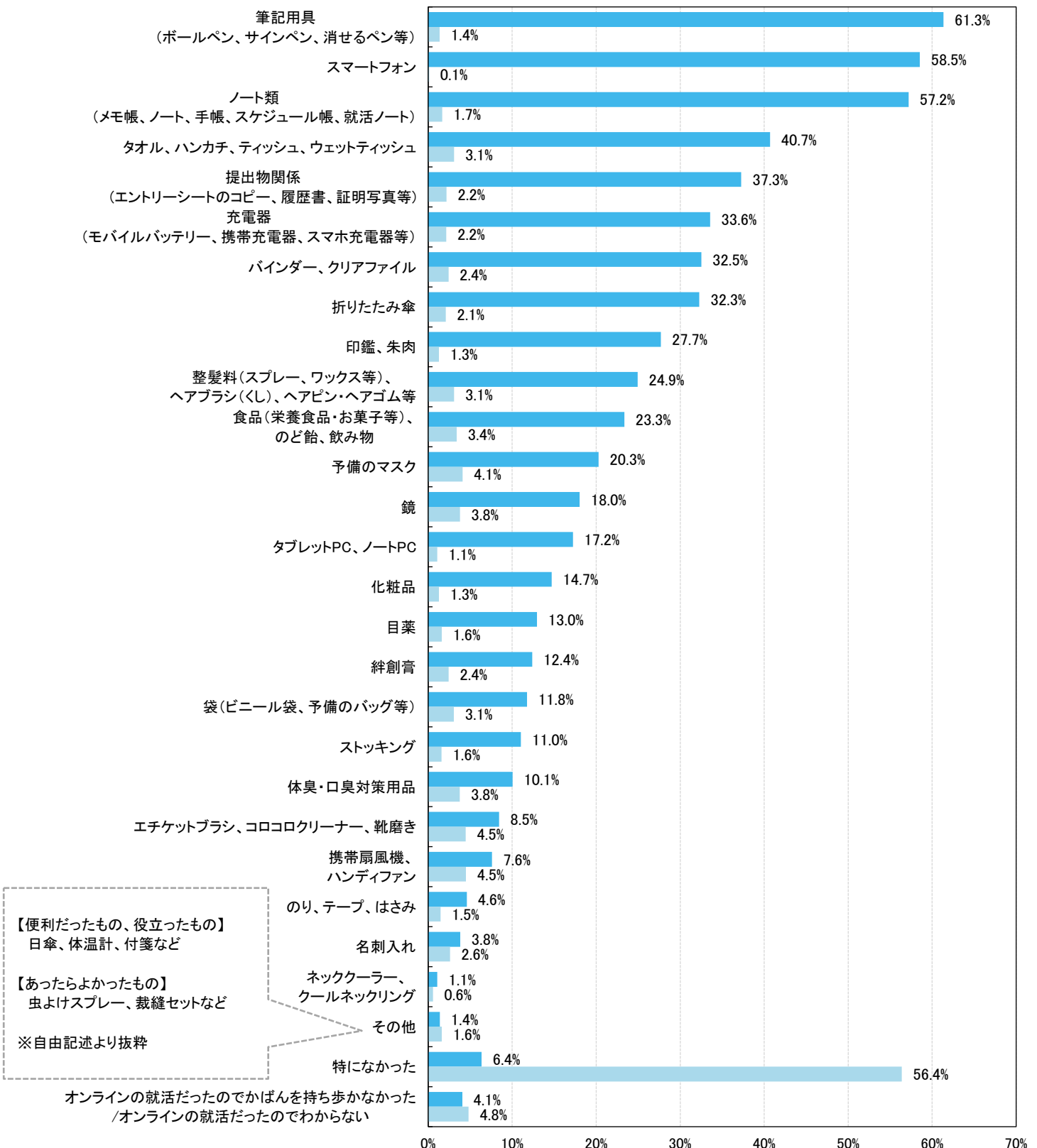
【前問で「積極的に活用した」「一定の範囲で活用した」のいずれかを選択した人】
就職活動における情報収集で、実際に活用したSNSすべて【複数回答】

SNS	23年卒(819)		24年卒(741)		25年卒(526)			
	全体	全体	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	
X (Twitter)	63.4%	67.7%	68.2%	75.0%	66.3%	63.9%	68.2%	
YouTube	54.7%	55.5%	47.8%	51.6%	49.4%	47.1%	38.8%	
Instagram	46.9%	49.2%	45.2%	42.2%	28.1%	54.5%	50.4%	
LINEオープンチャット	36.4%	34.9%	31.0%	31.3%	34.8%	30.3%	27.1%	
TikTok	6.4%	5.3%	15.3%	20.3%	6.7%	19.3%	5.4%	
note	7.0%	5.1%	6.6%	6.3%	7.9%	7.4%	3.1%	
Facebook	2.3%	1.9%	2.5%	4.7%	1.1%	1.2%	3.1%	
Slack	3.4%	2.8%	1.8%	1.6%	2.2%	0.8%	4.7%	
LinkedIn	1.4%	1.9%	1.4%	3.1%	0.0%	0.8%	1.6%	
Discord	1.4%	1.5%	0.8%	1.6%	1.1%	0.0%	0.8%	
ニコニコ(niconico)	0.4%	0.5%	0.7%	1.6%	0.0%	0.4%	0.8%	
Threads	-	0.9%	0.5%	0.0%	1.1%	0.8%	0.0%	
Clubhouse	0.5%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他のSNS	1.0%	0.3%	0.7%	0.0%	1.1%	0.4%	2.3%	

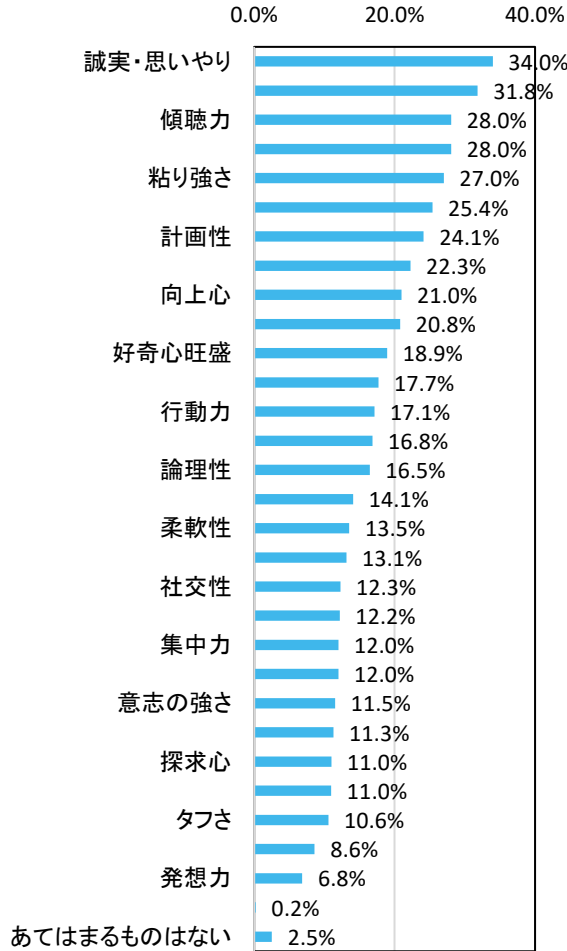
30個の選択肢から、自身の強みにあてはまると思うもの・弱みにあてはまると思うものをそれぞれ聞いた。強みにあてはまるものとしては、1位「誠実・思いやり（34.0%）」、2位「協調性（31.8%）」、3位「傾聴力（28.0%）」「責任感の強さ（28.0%）」となった。文理男女別に上位回答の特徴をみると、「誠実・思いやり」は文系男子・文系女子・理系男子で1位で、理系女子のみ5位だった。文系では男女ともに2位が「協調性」、3位が「傾聴力」の順となっている。「粘り強さ」の項目は理系男子では2位、理系女子では1位と、理系学生の強みとして上位にあがった。弱みにあてはまるものとしては、1位「リーダーシップ（30.8%）」、2位「社交性（24.0%）」、3位「発想力（18.9%）」となり、文理男女別にみても上位項目は同順となった。

就職活動中かばんにいれていたもので「便利だったもの」「役立ったもの」／「あったらよかった」と感じたもの
【複数回答】

■ 就職活動中かばんに入れていたもので、「便利だったもの」「役立ったもの」
 ■ かばんにいれておらず「あったらよかった」と感じたもの、買い足したもの



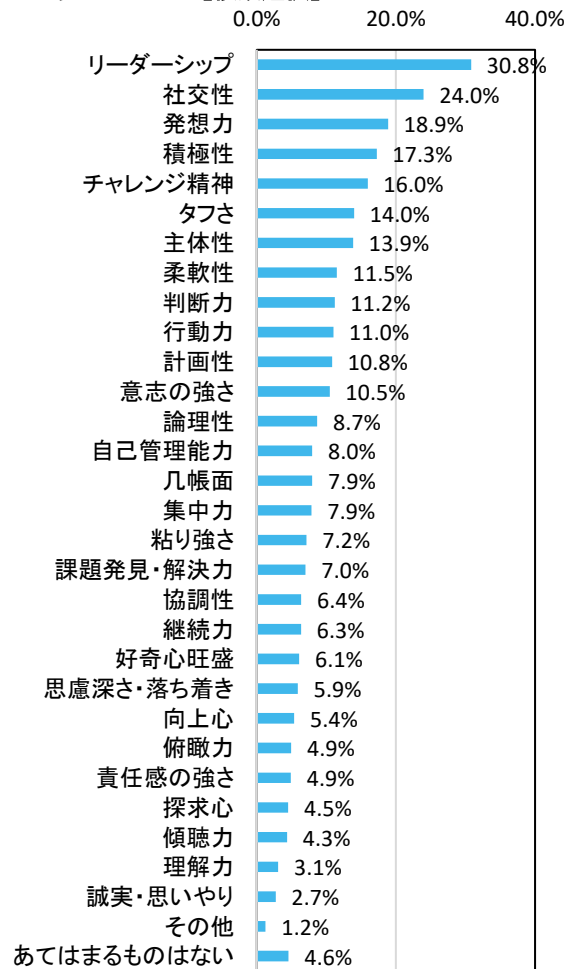
強みにあてはまるもの【複数選択】



文系男子			文系女子		
1位	誠実・思いやり	33.3%	1位	誠実・思いやり	42.0%
2位	協調性	33.3%	2位	協調性	37.7%
3位	傾聴力	28.5%	3位	傾聴力	35.4%
4位	責任感の強さ	27.9%	4位	責任感の強さ	33.5%
5位	几帳面	23.6%	5位	粘り強さ	30.2%
6位	課題発見・解決力	23.6%	6位	計画性	27.0%
7位	継続力	22.4%	7位	几帳面	25.9%
8位	論理性	21.8%	8位	継続力	25.3%
9位	粘り強さ	21.2%	9位	向上心	23.7%
10位	計画性	20.6%	10位	思慮深さ・落ち着き	21.0%

理系男子			理系女子		
1位	誠実・思いやり	28.7%	1位	粘り強さ	32.4%
2位	粘り強さ	27.2%	2位	責任感の強さ	31.8%
3位	継続力	26.5%	3位	協調性	30.9%
4位	論理性	24.4%	4位	継続力	30.3%
5位	計画性	24.0%	5位	誠実・思いやり	27.2%
6位	課題発見・解決力	23.7%	6位	計画性	26.0%
7位	協調性	23.3%	7位	傾聴力	25.1%
8位	傾聴力	20.1%	8位	好奇心旺盛	23.5%
9位	向上心	20.1%	9位	チャレンジ精神	20.8%
10位	好奇心旺盛	20.1%	10位	向上心	20.2%

弱みにあてはまるもの【複数選択】

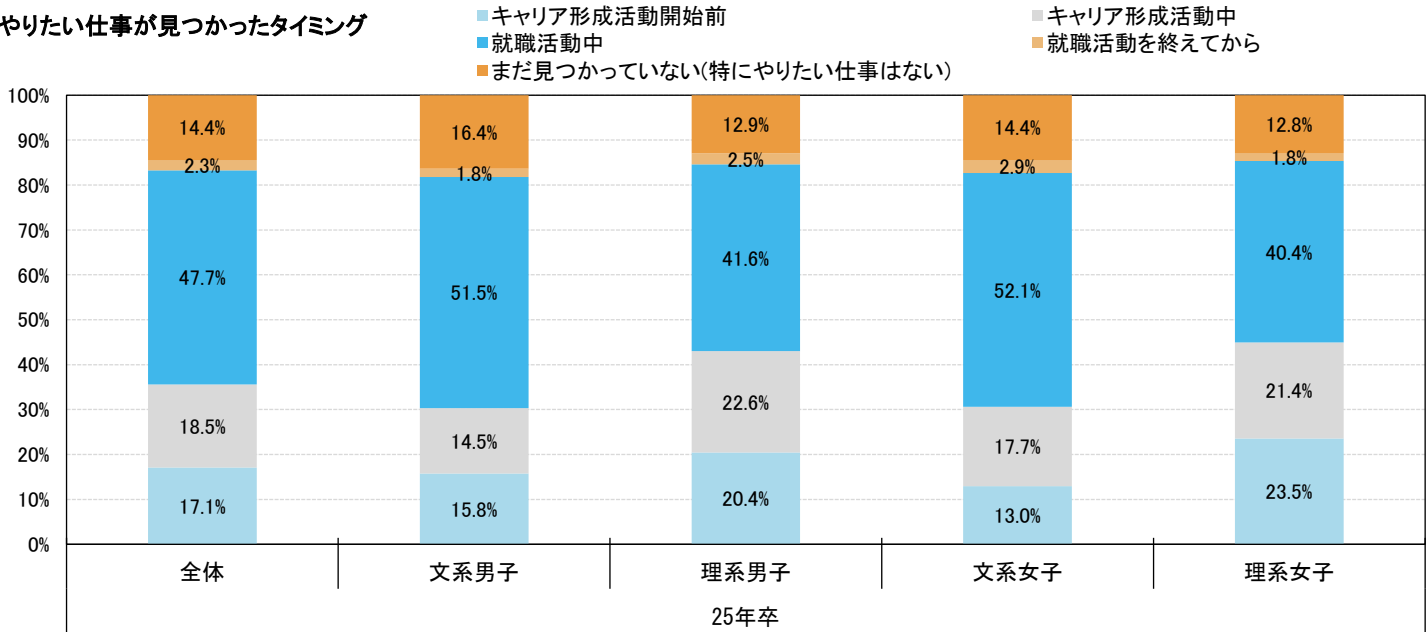


文系男子			文系女子		
1位	リーダーシップ	27.3%	1位	リーダーシップ	36.0%
2位	社交性	26.1%	2位	社交性	25.5%
3位	発想力	18.2%	3位	発想力	20.4%
4位	積極性	15.8%	4位	積極性	20.2%
5位	チャレンジ精神	13.9%	5位	チャレンジ精神	18.9%
6位	タフさ	13.3%	6位	主体性	17.3%
7位	柔軟性	12.7%	7位	タフさ	16.5%
8位	判断力	10.9%	8位	行動力	13.8%
9位	計画性	10.3%	9位	論理性	13.8%
10位	意志の強さ	10.3%	10位	判断力	13.2%

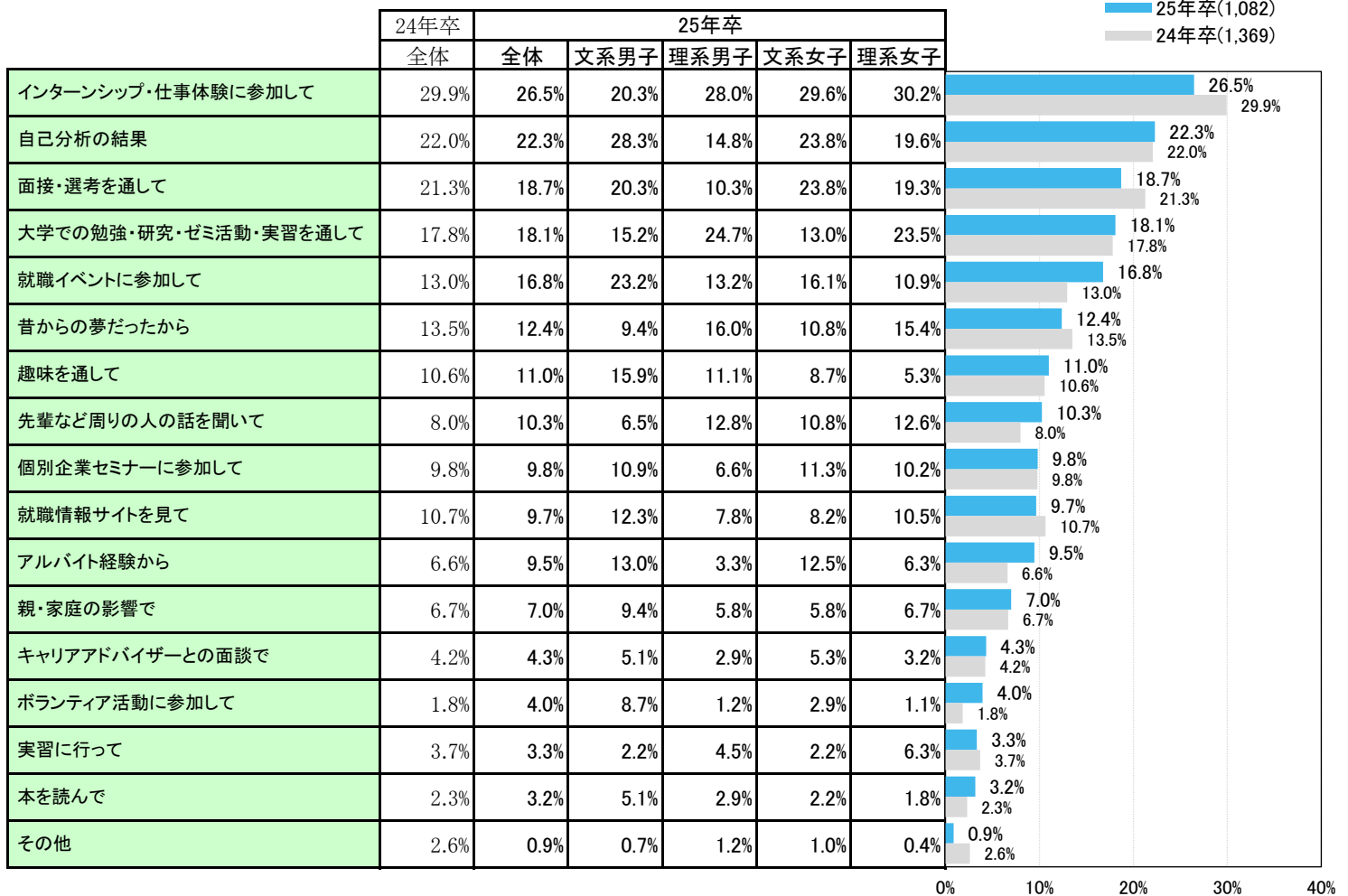
理系男子			理系女子		
1位	リーダーシップ	26.2%	1位	リーダーシップ	35.5%
2位	社交性	21.1%	2位	社交性	21.1%
3位	発想力	17.2%	3位	発想力	20.2%
4位	積極性	16.1%	4位	積極性	16.2%
5位	チャレンジ精神	14.3%	5位	チャレンジ精神	16.8%
6位	タフさ	11.1%	6位	タフさ	15.3%
7位	主体性	12.9%	7位	主体性	18.7%
8位	柔軟性	10.8%	8位	柔軟性	9.8%
9位	判断力	7.5%	9位	判断力	14.1%
10位	行動力	12.2%	10位	行動力	9.8%

やりたい仕事が見つかったのはいつかを聞くと、「キャリア形成活動開始前」も17.1%と一定数いるものの、「キャリア形成活動中」が18.5%、「就職活動中」が47.7%と、あわせて66.1%となり、多くの学生がキャリア形成活動や就職活動の中でやりたい仕事を見つけただことがわかった。また「まだ見つかっていない(特にやりたい仕事はない)」は14.4%となった。やりたい仕事が見つかったきっかけとしては、「インターンシップ・仕事体験に参加して(26.5%、対前年3.4pt減)」が前年に引き続き最も高かった。入社してやりたい仕事を3つまで聞くと、「人の役に立てる仕事がしたい(39.3%、対前年0.4pt減)」が最も多く、次いで「仕事の内容より周りの人間関係や職場環境の良い所で働きたい(32.0%、対前年1.4pt増)」が多かった。

やりたい仕事が見つかったタイミング



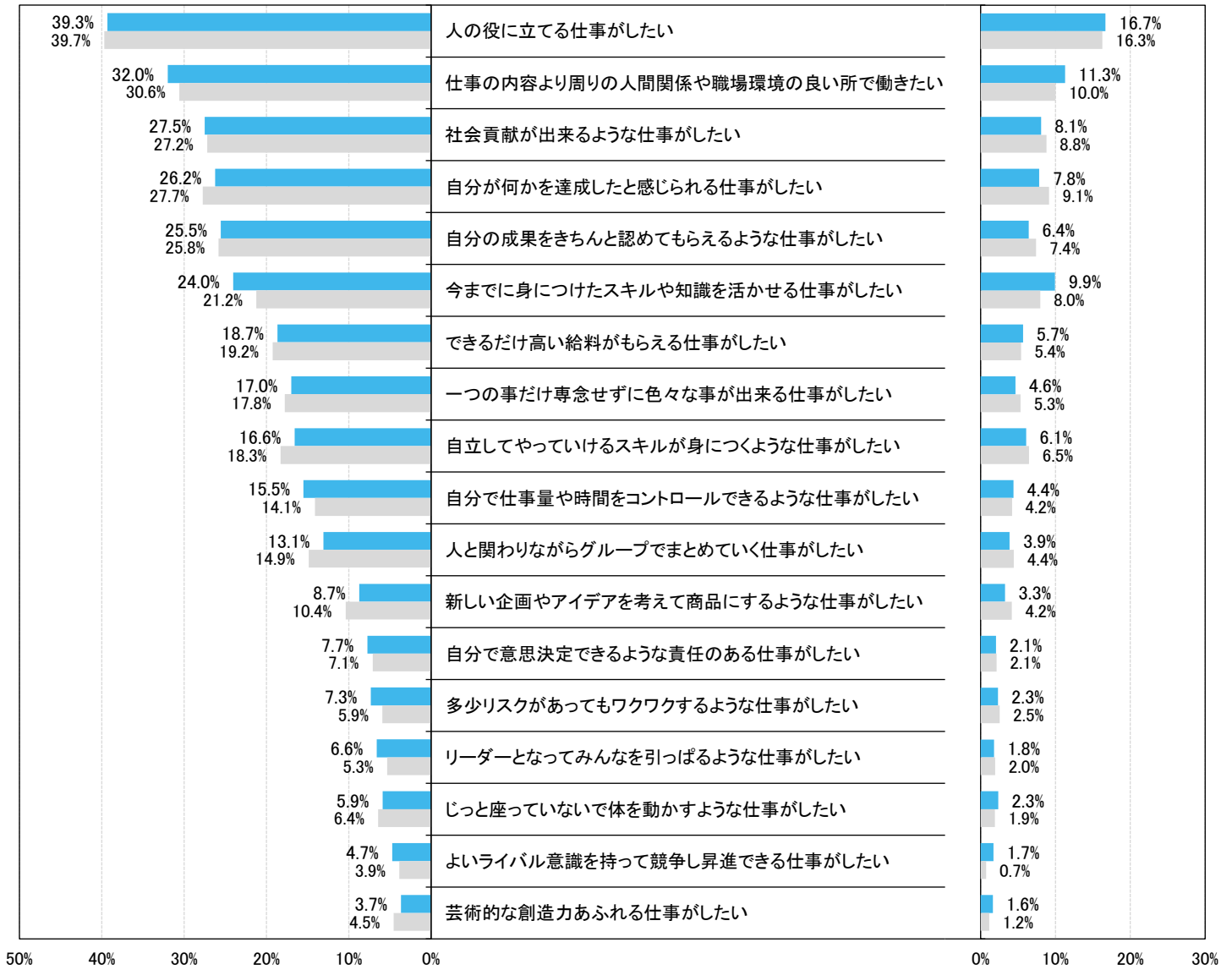
【前問で「キャリア形成活動開始前」「キャリア形成活動中」「就職活動中」「就職活動を終わってから」のいずれかを選択した人】
 やりたい仕事が見つかったきっかけ【複数回答】



入社してやってみたい仕事【3つ回答】

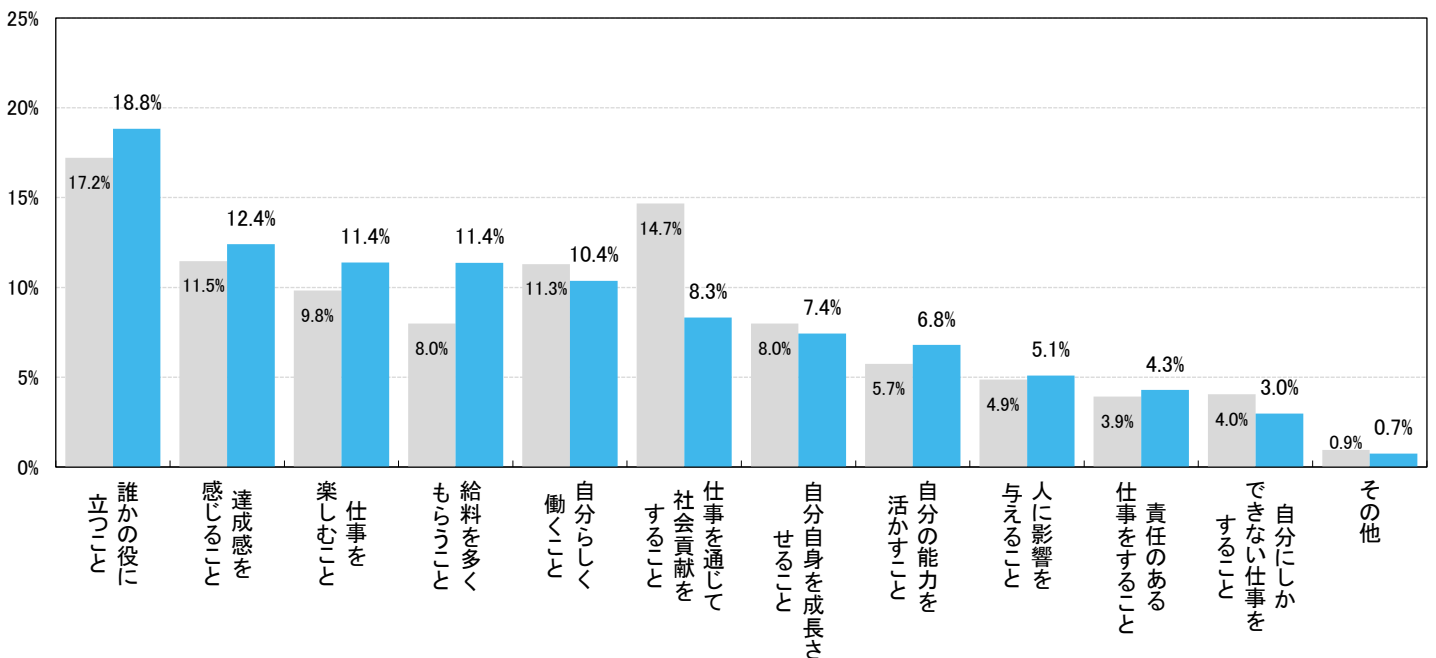
25年卒(1,082)
24年卒(1,369)

入社して最もやってみたい仕事



仕事の「やりがい」とは何か

24年卒(1,629) 25年卒(1,257)



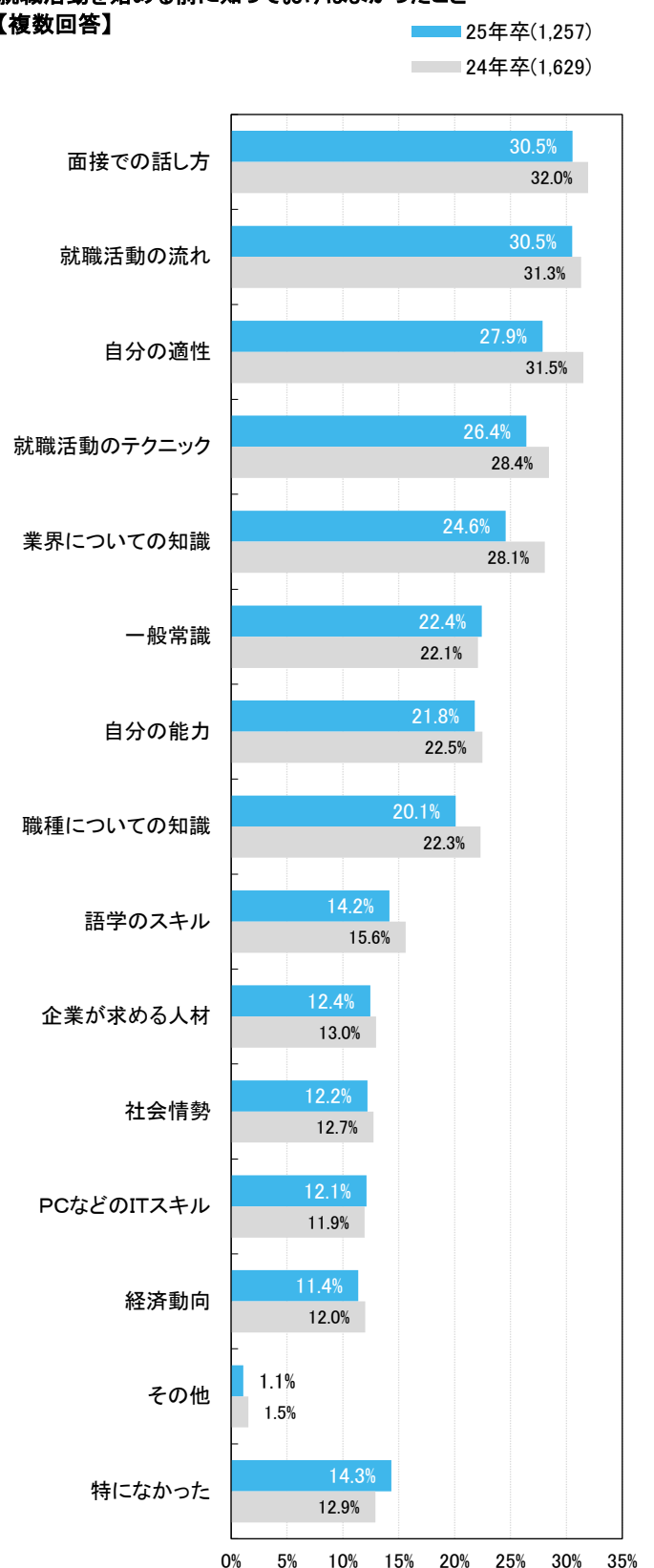
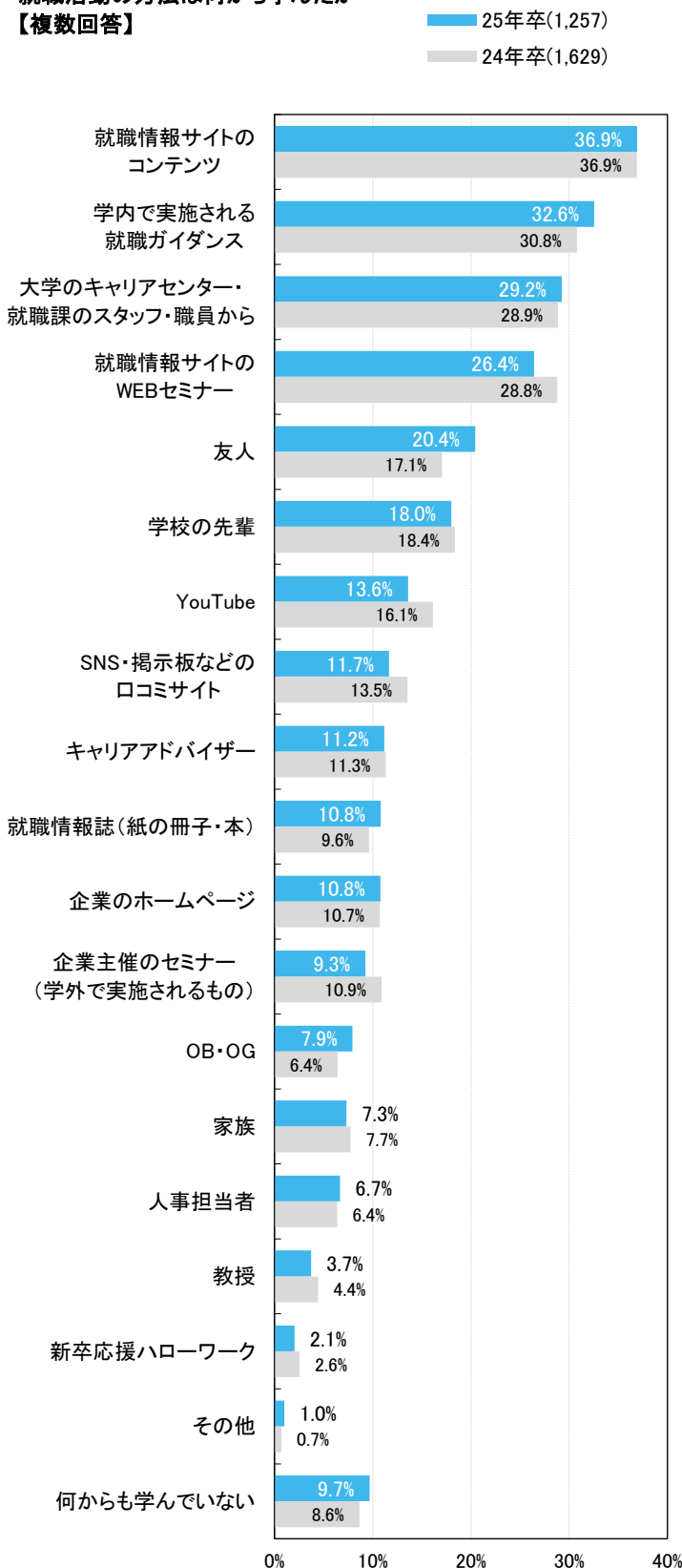
就職活動の方法は何から学んだかを複数回答で聞いたところ、最も割合が高かったのは「就職情報サイトのコンテンツ（36.9%、前年同値）」だった。就職活動を始める前に知っておけばよかったことでは「面接での話し方（30.5%、対前年1.5pt減）」「就職活動の流れ（30.5%、対前年0.8pt減）」の2つが最も高かった。

活動を始めて「もっと早く取り組めばよかった」「時間をかけて取り組みたかった」と思ったことで、最も高い割合だったのは「筆記試験対策（31.6%、対前年2.5pt増）」、次いで「自己分析（27.3%、対前年1.9pt減）」となった。

就活を通じて企業に改善してほしいと思ったことは、「交通費を支給してほしい（40.5%、対前年0.4pt減）」が最も高い割合で、前年に最も高かった「不合格の場合も早く連絡してほしい（39.5%、対前年3.7pt減）」を上回った。

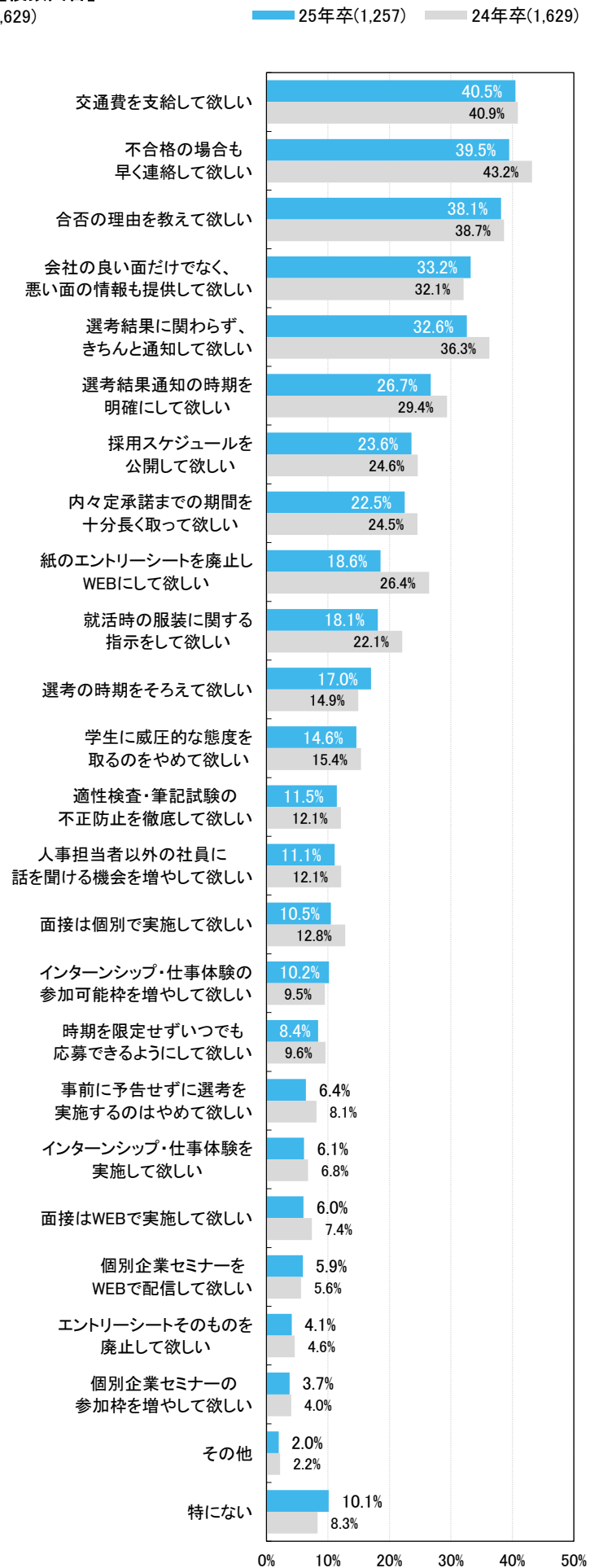
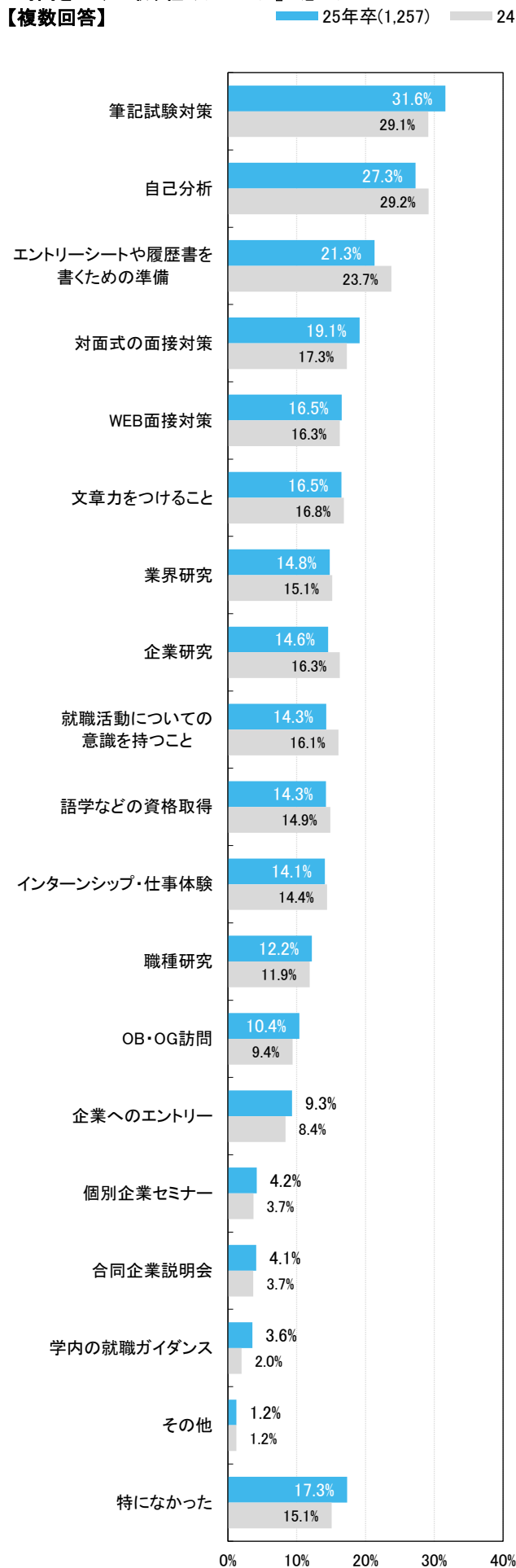
就職活動の方法は何から学んだか
【複数回答】

就職活動を始める前に知っておけばよかったこと
【複数回答】



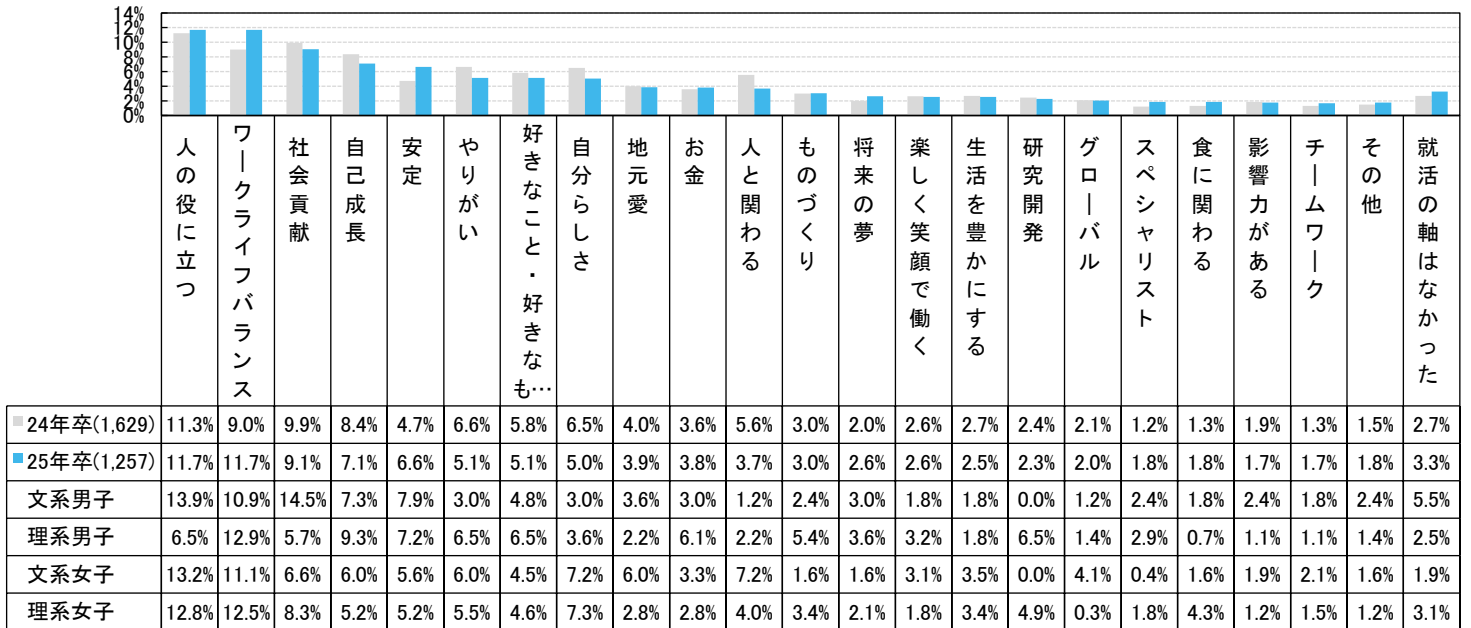
活動を始めて「もっと早く取り組みればよかった」
「時間をかけて取り組みたかった」と思ったこと
【複数回答】

就活を通じて企業に改善して欲しいと思ったこと
【複数回答】



「就活の軸」として最も重要だったと思われるフレーズを聞いたところ、最も高い割合だったのは「人の役に立つ（11.7%、対前年0.4pt増）」と、「ワークライフバランス（11.7%、対前年2.7pt増）」だった。特に「ワークライフバランス」は回答率が伸びている。全体的にみると回答はばらけており、他に5%を超える「就活の軸」は「社会貢献」「自己成長」「安定」「やりがい」「好きなこと・好きなもの」「自分らしさ」の6つがあった。就活生が様々な自分自身の「就活の軸」を定めて活動していたことが分かる。また、就職活動を通じて自分自身が成長できたか聞いたところ、73.0%（対前年0.9pt減）と多くの就活生が「はい」と回答した。成長できたと思う部分では「自分自身に対する理解が深まった（48.3%、対前年7.3pt減）」「将来についてよく考えるようになった（47.2%、対前年8.5pt減）」の割合が特に高かった。

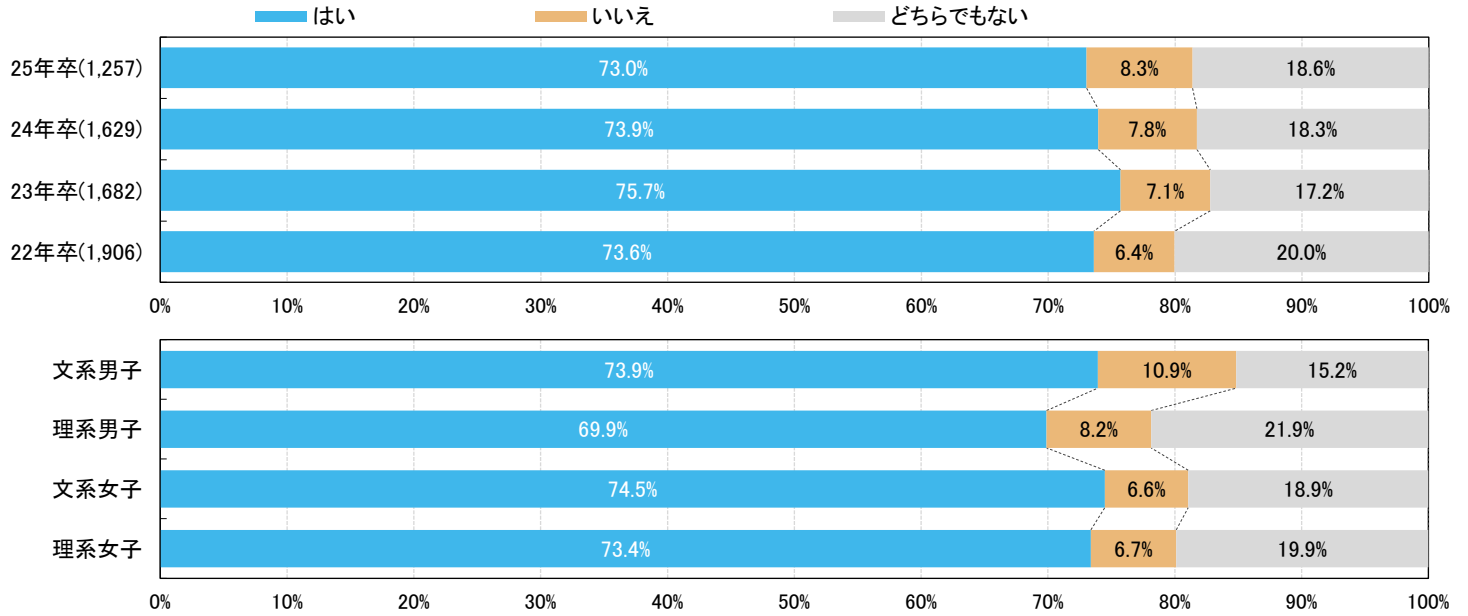
「就活の軸」として最も重要だったと思われるフレーズ



※各分類での多い順ランキング

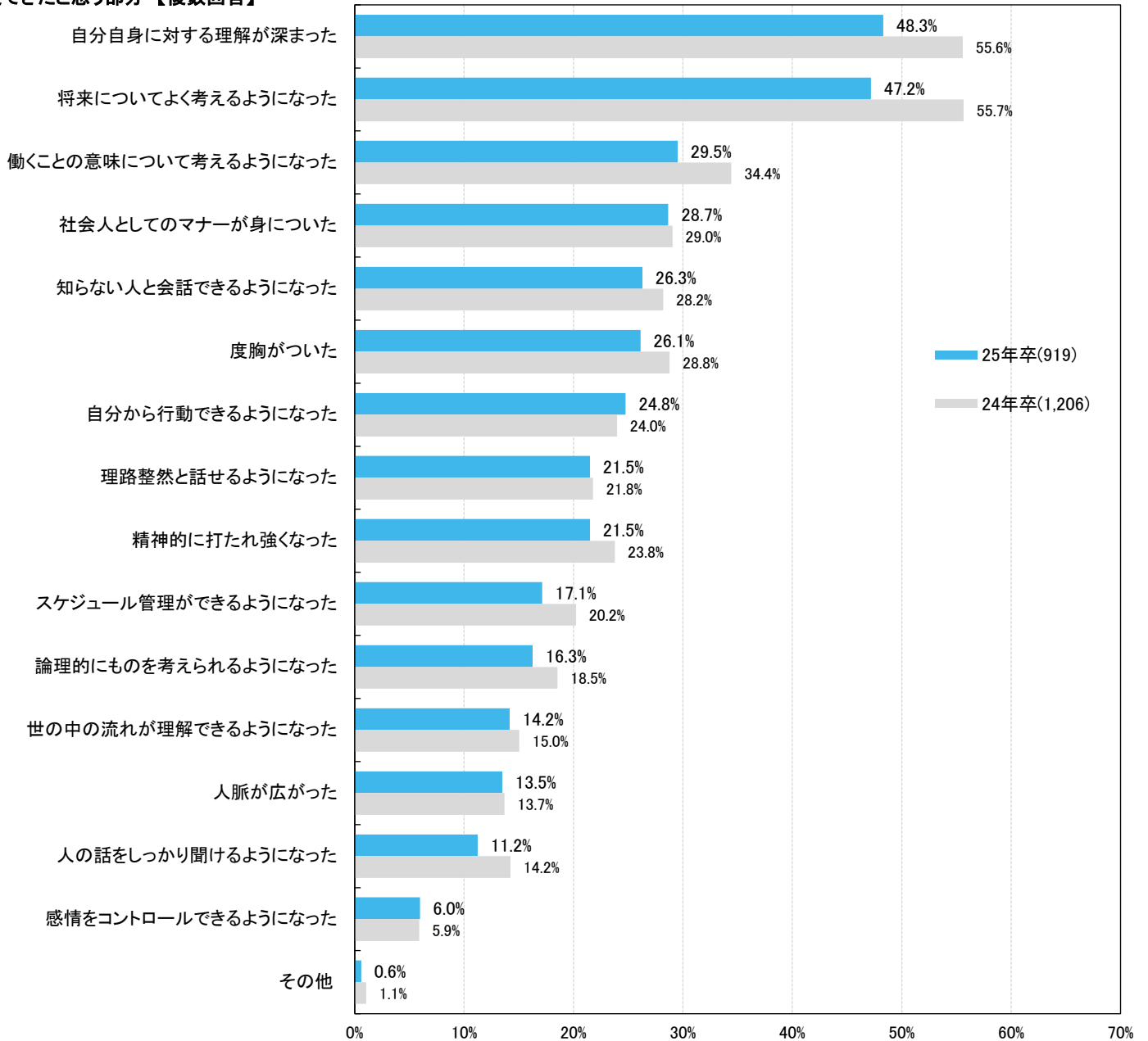
文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
1 社会貢献	1 ワークライフバランス	1 人の役に立つ	1 人の役に立つ
2 人の役に立つ	2 自己成長	2 ワークライフバランス	2 ワークライフバランス
3 ワークライフバランス	3 安定	3 自分らしさ	3 社会貢献
4 安定	4 人の役に立つ	3 人と関わる	4 自分らしさ
5 自己成長	4 好きなこと・好きなもの	5 社会貢献	5 やりがい
6 就活の軸はなかった	4 やりがい	6 自己成長	6 自己成長
7 好きなこと・好きなもの	4 研究開発	6 やりがい	6 安定
8 地元愛	8 お金	6 地元愛	8 研究開発
9 将来の夢	9 社会貢献	9 安定	9 好きなこと・好きなもの
9 自分らしさ	10 ものづくり	10 好きなこと・好きなもの	10 食に関わる
9 やりがい	11 将来の夢	11 グローバル	11 人と関わる
9 お金	11 自分らしさ	12 生活を豊かにする	12 生活を豊かにする
13 ものづくり	13 楽しく笑顔で働く	13 お金	12 ものづくり
13 スペシャリスト	14 スペシャリスト	14 楽しく笑顔で働く	14 就活の軸はなかった
13 影響力がある	15 就活の軸はなかった	15 チームワーク	15 地元愛
13 その他	16 地元愛	16 就活の軸はなかった	15 お金
17 チームワーク	16 人と関わる	16 影響力がある	17 将来の夢
17 食に関わる	18 生活を豊かにする	18 ものづくり	18 楽しく笑顔で働く
17 生活を豊かにする	19 その他	18 将来の夢	18 スペシャリスト
17 楽しく笑顔で働く	19 グローバル	18 その他	20 チームワーク
21 人と関わる	21 影響力がある	18 食に関わる	21 影響力がある

就職活動を通じて自分自身が成長できたと思うか



【成長できたと思う人】

成長できたと思う部分【複数回答】



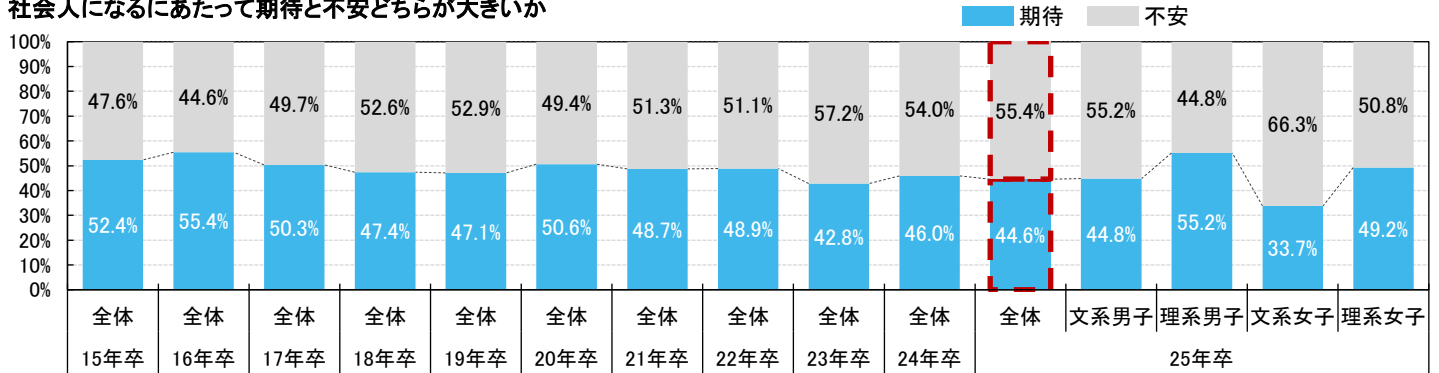
これからキャリア形成活動・就職活動に取り組む後輩に向けて、アドバイスやメッセージ

文理男女	学部	アドバイス・メッセージ
理系男子	工科学部	自己分析は自身の就活で最も軸となる部分であり、そのために早めにやっておいた方がよい。
理系男子	総合科学技術研究科	就職活動とは自身が何をしたいか、どういう人間かということを考え、自分を理解することのできる時間だと思います。自分と向き合い自分の希望を明確にし、希望を実現するために行動に移すというプロセスはどんな時でも役に立つことだと思うので面倒臭がらず早めからこのプロセスに慣れていけば自然とより良い未来を掴むことができると思います。
文系女子	人文社会科学部	自己分析は早めに開始し、時間をかけてじっくりと行った方がよい。
文系女子	地域創生学部	少しずつ、部分的でもいいので、早めに始めることが大切だと思います。特に、気になる企業が出てきたらできるだけ早く、情報を自分から掴みにいかないと、なかなか情報は入ってきません。企業だけではなく、社会の流れも、自分からアンテナを張っておくのが大事だと実感しました。
理系女子	薬学部	就活は早めに始めるに越したことはない。やっていくうちに増えてくるものもあるのでとにかく行動したほうがよい。
文系男子	経営学部	興味がある企業や憧れの企業に入るために時間を使うのではなく、自分自身について理解する時間を多く設けることで自己分析を徹底してから企業を選んでいくことでよりミスマッチの少ない選択が出来ると思います。
文系女子	経営学部	自己分析が一番大事だと思うので早い段階から始めるべきだと思う。
文系女子	経済学部	就職活動で、自分を飾りすぎたり優秀にみられるように嘘をついたりすると、後々苦しくなるので、ありのままの自分をアピールする方が、自分に合った企業に出会えますし、精神的にも楽になります。
文系女子	人間生活学部	人と比べて焦ることもあるかも知れないけど、自分らしさを大切にしてください。就活に正解は正直ありません。入社してみないと分からないこともきっと沢山あります。だからこそ、自己分析をしっかりと自分が納得できる選択をしてくれれば嬉しく思います。就活に対してはあまり思い詰めず、成長できる機会、社会で働く人々と触れ合うことできる貴重な機会だとプラスに捉えてもらえるといいかなと思います。
文系男子	健康メディカル学部	自分からどんどん行動に移していくことを大切にしてほしい。そうしないと、満足のいく結果は得られない。
理系男子	工学研究科	満足して就活を終えるためには早め早めの行動が大事だと実感しました。
文系女子	芸術学部	就活の軸は行動することで見えてくるので、3回生の夏からインターンシップにどんどん行ってください。色々な業界や職種を見ることで比較ができます。あと、勤務地や実家を離れるor離れない...などは意外と重要です。どのような仕事をしたのか考えることはもちろん重要ですが、一人暮らしをしたいのかしたくないのか、都会がいいのか自然豊かなところがいいのか、休みの日は何をしたいのかなど、どのように過ごしていくのかをイメージすることも大切です。
理系女子	医学部	早め早めの対策・行動が重要です。早すぎるでしょ、周りはまだやってないから...と思うのではなく、他人より余裕を持って準備する気持ちの方が、心の持ち様がずいぶん違うと思います。
文系男子	人間科学部	自分に合った仕事、企業を知るためになるべく早くインターンシップなどのイベントに参加するのが良いと思う。
文系女子	現代社会学部	はじめは自分が何が好きかわからない状態だと思います。インターンシップなど興味のない業界にも参加してみることで自分がやりたいと思う仕事が見つかると思います。頑張ってください。
文系女子	文学部	選考に落ちて、自分を責めすぎないでほしい。夏のインターンシップでは興味のない業界でも行ってみると、面白く感じれるかもしれない。自分は範囲を狭めすぎて後悔している。
理系女子	理工学研究科	あまり追い詰められず「世の中の役に立っている様々な企業を覗き見できる貴重なチャンス」くらいの気持ちで説明会・インターンシップ・面接と体験するべきだと思います。気持ちが萎えてしまうことが一番悲しいことだと思うので、就活疲れを感じた時や企業の選考に落ちてしまった時は、休憩を取ることも大事だと思います。加えて、友達や家族に自分の不安などを吐き出すことも大事と感じました。
文系男子	こども教育学部	気負いすぎず、そのままの自分の思いを受け止めてくれる会社があなただけの会社です。
文系男子	危機管理学部	「周りがこうだから…」のような先入観とか偏見とかは気にせず、「自分のキャリア」にこだわるべき。
文系男子	教育学部	最初から自分のやりたい仕事を見つけるのは難しいので、視野を広く持って就職活動を行うのもありだと思う。
文系男子	公共学部	自分自身をしっかりと見つめること。周りが、友達が、世の中がどうだ、こうだではない。
理系男子	医学系研究科	自分が何をしたいか、どのように生きていきたいかということを考えながら就職活動を進めてください。
文系女子	外国語学部	自分が大切にしていることや、譲れないことを明確にして活動すると企業を絞りやすい。
文系女子	外国語学部	マナーなどは気にしすぎず自分らしさを大切にしたい方がよいと思います。企業の方と接したり選考を受けていく中で、理由が分からなくても心の中に少しでももやもやした気持ちがあれば、その企業は見直した方がよいかもしれません。自分の直感を大切にしてください。
文系女子	現代国際学部	企業に選ばれるのではなく、自分と企業のお見合いのように自分自身にも選択する権利があることを知っておいて欲しい。
文系女子	心理学部	変に気張らず、周りと比較せず、適度に息抜きしながら自分のペースで取り組んでください。
理系女子	工学部	ただ社会人になって働く場所を見つけるだけではなく、自分と向き合ってより自分のことを理解する良い機会だと思います。
理系女子	総合理工学研究科	自分が所属している大学・専攻に囚われず、気になった企業にはどんどん足を運んでみて下さい。自分が思っている以上に企業は大学・専攻は気にしていないと思います。
理系女子	理学研究科	あまり自分を追い詰めず、焦らず自分のペースでやるのが大切だと思います。

■5: 社会人になるにあたって

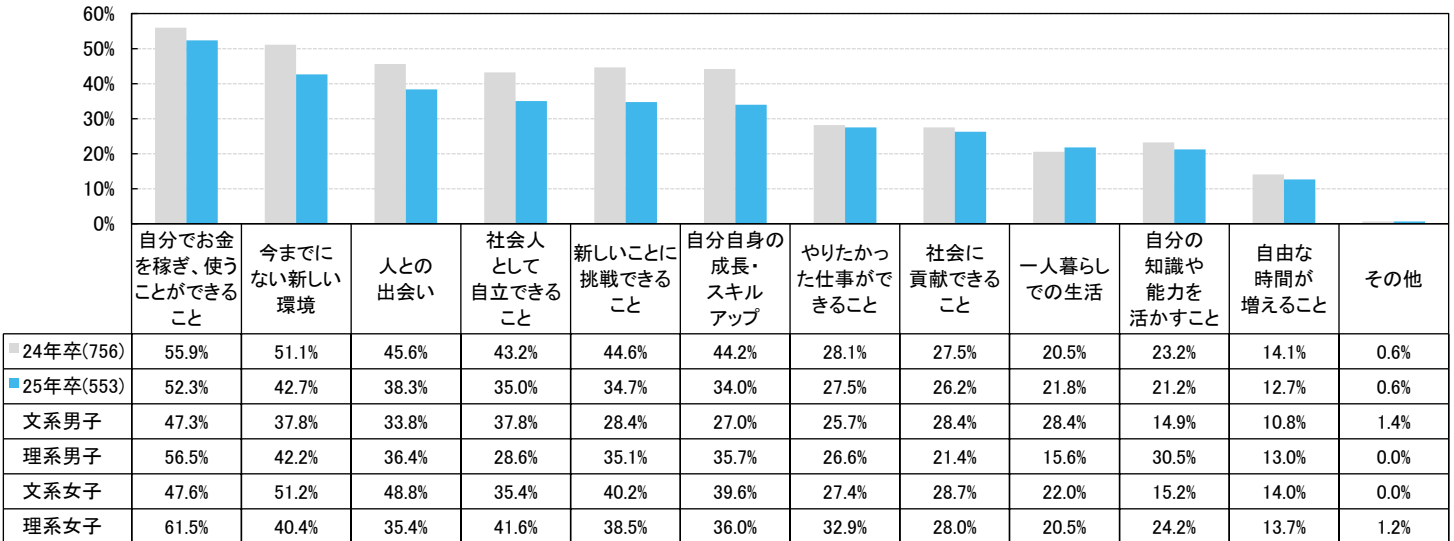
社会人になるにあたって期待と不安どちらが大きいと聞いたところ、期待と答えた学生の割合（44.6%、対前年1.4pt減）は前年を下回った。期待を持っていることとしては、「自分でお金を稼ぎ、使うことができること（52.3%、対前年3.6pt減）」「今までにない新しい環境（42.7%、対前年8.4pt減）」などが上位にあがったが、前年より回答率が減少したものが多かった。不安の方が大きいと感じる学生の割合（55.4%、対前年1.4pt増）は前年を上回り、その内容としては「仕事をうまく進められるか（59.2%、対前年2.6pt減）」「職場での人間関係（54.3%、対前年6.5pt減）」などが多かった。

社会人になるにあたって期待と不安どちらが大きい



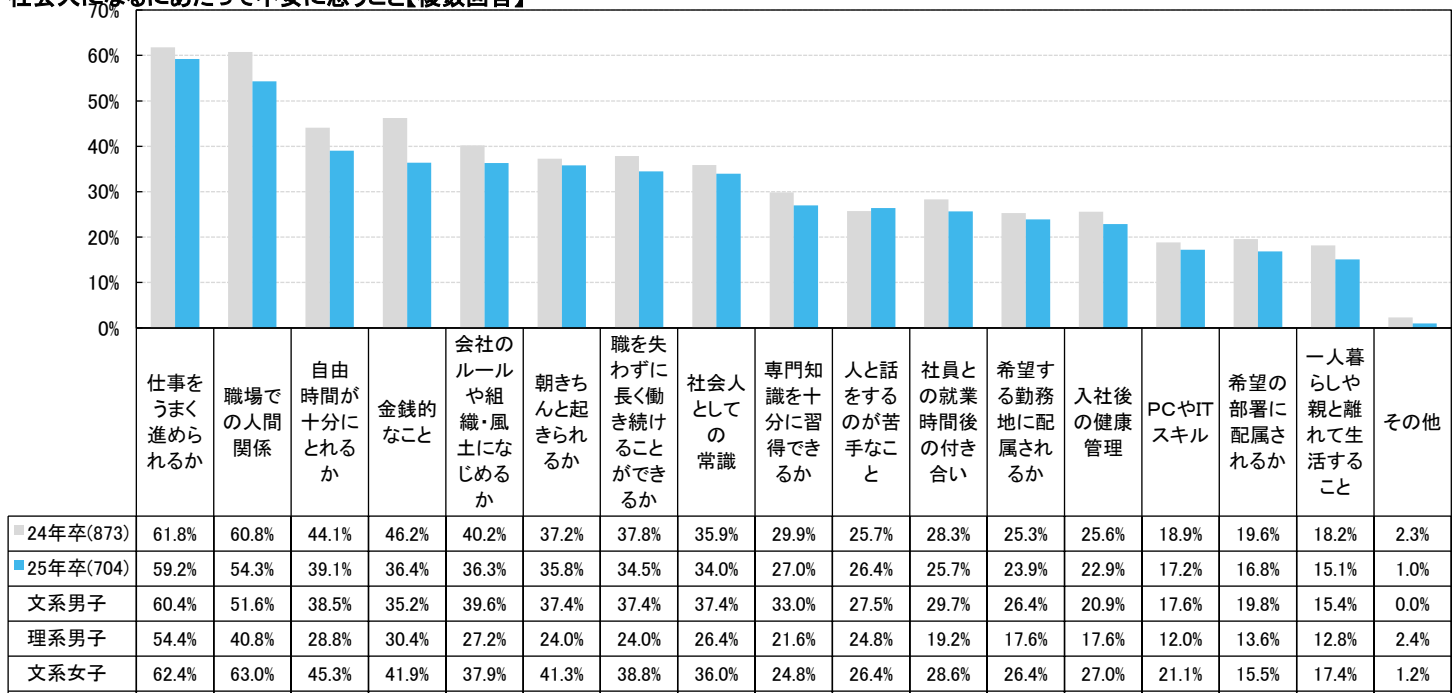
【期待が大きい人】

社会人になるにあたって期待を持っていること【複数回答】



【不安が大きい人】

社会人になるにあたって不安に思うこと【複数回答】

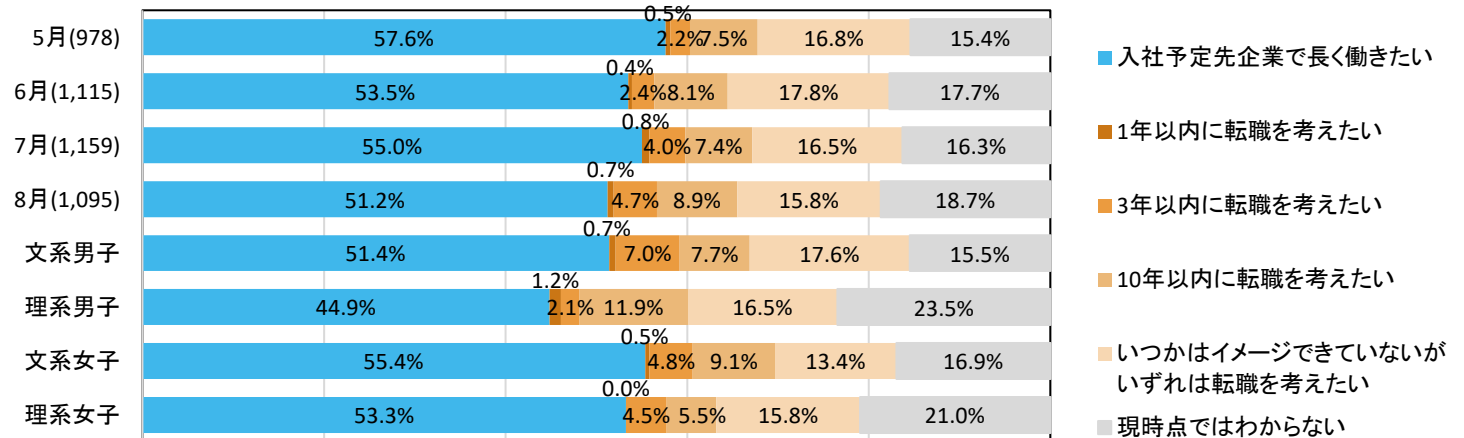


■6: 入社後の働き方について

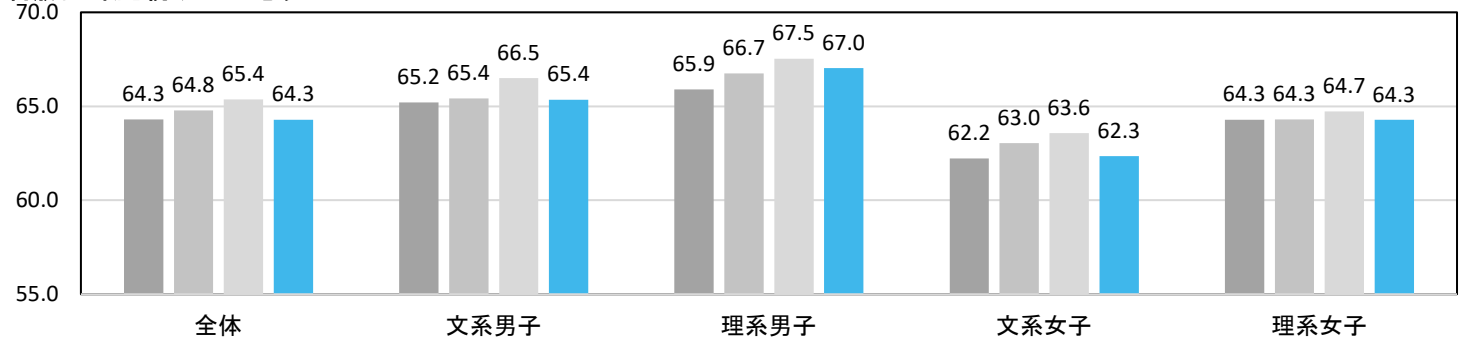
入社後のキャリアについて、どのように考えているかを、5月から8月まで、入社予定先決定者のみに聞いた。いずれの月も「入社予定先で長く働きたい」という回答が最も多いが、8月の回答割合は51.2%と最も少なかった。人生100年時代に向けた働き方として何歳まで働きたいかを聞くと、平均年齢は64.3歳（対前年1.1pt減）で、過去2年上がっていたが、低下に転じる結果となった。今後の働き方として考えに近いものを聞くと、前年同様「ワークライフバランスを重視してそこそこ働ければいい（42.8%、対前年0.4pt増）」の回答が最も多かった。

入社後のその先のキャリアについて、どのように考えているか

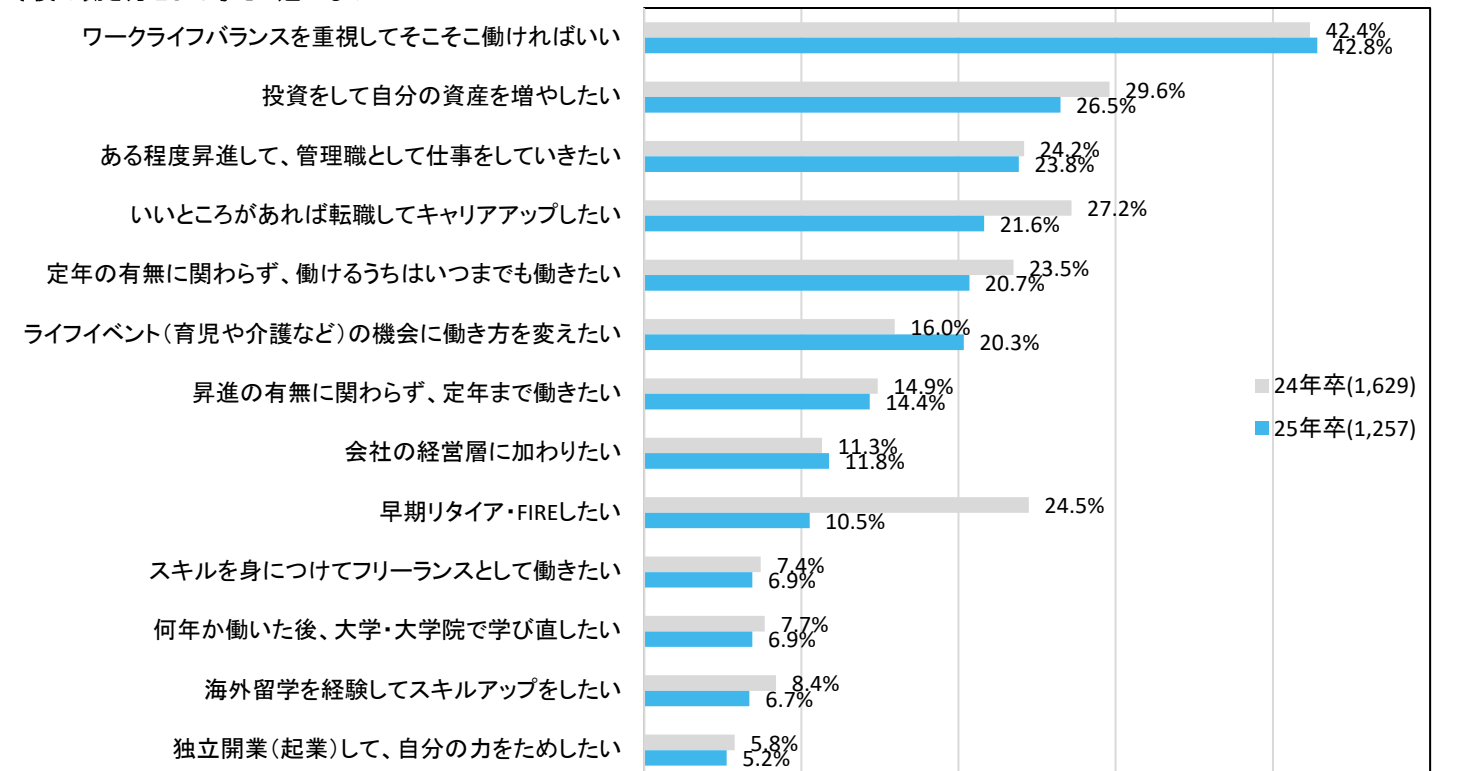
※入社予定先決定者のみ



「人生100年時代」
何歳まで働き続けたいと思うか



「人生100年時代」
今後の働き方として考えに近いもの



■7:あなたの就職活動を漢字一文字で表すと

25年卒(2024年) BEST10			文系男子		理系男子		文系女子		理系女子	
ランク	漢字	得票率	ランク	得票率	ランク	得票率	ランク	得票率	ランク	得票率
1	楽	5.25%	3	4.85%	1	6.09%	2	3.91%	1	6.73%
2	苦	5.01%	1	7.27%	4	3.23%	1	5.97%	2	3.98%
3	耐	3.98%	2	5.45%	2	4.30%	4	3.29%	2	3.98%
4	忙	2.78%	7	1.82%	7	2.51%	6	2.88%	5	3.36%
5	努	2.70%	16	1.21%	6	2.87%	3	3.50%	8	2.14%
6	辛	2.15%	31	0.61%	9	2.15%	4	3.29%	19	1.22%
7	迷	2.07%	31	0.61%	10	1.79%	9	2.06%	6	3.06%
8	疲	1.99%	7	1.82%	19	1.08%	9	2.06%	7	2.75%
8	挑	1.99%	4	3.64%	7	2.51%	14	1.44%	13	1.53%
10	考	1.75%	5	3.03%	14	1.43%	13	1.65%	13	1.53%
10	無	1.75%	7	1.82%	3	3.58%	18	1.23%	24	0.92%

自分の就職活動を漢字一文字で表してもらったところ、TOP3の順位は23年卒から3年連続同順で、1位「楽」、2位「苦」、3位「耐」となった。4位の「忙」は24年卒の8位から4つ順位を上げた。その他「努」「辛」「迷」「疲」など、就職活動の大変さを感じさせる漢字がランクインしている。文理男女別にみると、文系男子・文系女子はともに「苦」が1位、理系男子・理系女子はともに「楽」が1位となっており、文理で就職活動の苦楽の感じ方に差がみられる結果となった。

◆過去10年の調査結果

24年卒(2023年)			23年卒(2022年)			22年卒(2021年)			21年卒(2020年)			20年卒(2019年)		
1	楽	5.2%	1	楽	6.5%	1	苦	4.9%	1	苦	4.6%	1	楽	6.9%
2	苦	4.4%	2	苦	5.5%	2	楽	4.5%	2	楽	4.0%	2	苦	4.1%
3	耐	3.3%	3	耐	3.5%	3	耐	3.1%	3	耐	3.1%	3	疲	2.6%
4	努	2.4%	4	努	2.7%	4	難	2.6%	3	動	3.1%	4	耐	2.3%
5	疲	2.3%	5	進	2.0%	5	迷	2.5%	5	難	2.4%	5	悩	2.1%
6	辛	2.3%	5	知	2.0%	6	辛	2.4%	6	辛	2.3%	6	考	1.9%
7	縁	2.0%	7	疲	2.0%	7	運	2.1%	7	迷	2.1%	7	成	1.8%
8	忙	1.9%	7	無	2.0%	8	考	2.0%	8	考	2.0%	8	辛	1.8%
9	早	1.8%	9	辛	1.9%	8	挑	2.0%	8	悩	2.0%	9	知	1.6%
10	運	1.7%	10	迷	1.8%	10	疲	1.9%	10	運	1.9%	9	動	1.6%
												9	迷	1.6%

19年卒(2018年)			18年卒(2017年)			17年卒(2016年)			16年卒(2015年)			15年卒(2014年)		
1	楽	7.9%	1	楽	7.9%	1	楽	7.1%	1	楽	7.5%	1	楽	6.9%
2	苦	4.1%	2	苦	4.5%	2	苦	5.8%	2	苦	4.8%	2	苦	5.4%
3	迷	2.7%	3	縁	3.2%	3	疲	3.2%	3	迷	3.5%	3	迷	3.2%
4	縁	2.2%	4	忙	2.4%	4	耐	2.6%	4	疲	3.4%	4	耐	3.0%
5	動	2.0%	5	耐	2.1%	4	忙	2.6%	4	忙	2.6%	4	動	3.0%
5	難	2.0%	6	疲	2.0%	6	迷	2.2%	6	長	2.3%	6	疲	2.2%
7	知	2.0%	6	無	2.0%	7	運	2.1%	7	早	2.1%	7	辛	1.9%
7	悩	2.0%	6	迷	2.0%	7	縁	2.1%	7	悩	2.1%	8	考	1.8%
9	辛	1.8%	9	知	1.9%	7	知	2.1%	9	縁	2.1%	8	悩	1.8%
9	耐	1.8%	10	動	1.8%	7	悩	2.1%	9	辛	2.1%	10	縁	1.7%
									9	耐	2.1%			

25年卒文理男女別ランキング

全体			文系男子			理系男子			文系女子			理系女子			
ランク	漢字	得票率	ランク	漢字	得票率	ランク	漢字	得票率	ランク	漢字	得票率	ランク	漢字	得票率	
1	楽	5.25%	1	苦	7.27%	1	楽	6.09%	1	苦	5.97%	1	楽	6.73%	
2	苦	5.01%	2	耐	5.45%	2	耐	4.30%	2	楽	3.91%	2	耐	3.98%	
3	耐	3.98%	3	楽	4.85%	3	無	3.58%	3	努	3.50%	2	自	3.98%	
4	忙	2.78%	4	挑	3.64%	4	苦	3.23%	4	辛	3.29%	2	苦	3.98%	
5	努	2.70%	5	考	3.03%	4	早	3.23%	4	耐	3.29%	5	忙	3.36%	
6	辛	2.15%	6	速	2.42%	6	努	2.87%	6	忙	2.88%	6	迷	3.06%	
7	迷	2.07%	同率7位に以下9文字、疲、縁、 積、自、粘、人、忙、成、無	7	忙	2.51%	7	忙	2.51%	7	動	2.67%	7	疲	2.75%
8	疲	1.99%		7	挑	2.51%	7	挑	2.51%	8	成	2.26%	8	悩	2.14%
10	考	1.75%		9	辛	2.15%	9	辛	2.15%	9	疲	2.06%	8	努	2.14%
10	無	1.75%		同率10位に以下4文字 動、迷、良、進			9	迷	2.06%	8	粘	2.14%			

【「あなたの就職活動を漢字一文字で表すと」調査概要】

- 調査対象／2025年卒業予定の全国大学4年生及び大学院2年生
- 有効回答／1,257名（内訳 文系男子：165名、理系男子：279名、文系女子：486名、理系女子：327名）
- 調査方法／WEB上のアンケートフォームより入力※1名につき漢字一文字と選出理由を自由回答
- 調査期間／2024年8月25日～2024年8月31日

大学	学部	その漢字を選んだ理由
1位 楽		
関西大学	文学部	楽しかったし、そこまで苦労しなかったから。
南山大学	経営学部	特に苦労していないため。
京都大学	エネルギー科学研究科	様々な業種、企業の方やいろんな大学の人と関わることができ、楽しかったから。
横浜商科大学	商学部	大変なことや面倒なことたくさんあったが、振り返ってみると楽しかったから。
立教大学	コミュニティ福祉学部	気を張りつめすぎずに、普段あまり人と関わらずに過ごしてる私がいろんな人と話せる良い機会だと捉えて、楽しみながら就職活動を行ったから。
宮城大学	食産業学群	自己分析や企業研究などで新しく学ぶことが多く、全体を通して楽しかったため。
福岡大学	工学部	しんどいこともありましたが、就職活動が新しいことを知るきっかけにもなり自分自身を成長させることが出来たし、楽しかったと感じる。
明星大学	理工学部	就職活動を通じて様々な経験や新しい環境、人との出会いがあって充実していて楽しかったから。
清泉女学院大学	人間学部	就職活動中に初めて知った会社の説明会や名前だけしか知らなかった会社の説明会など、たくさんの企業の説明を聞いて楽しかったこと、自分の知らなかった自分が分かった就職活動だった。大変なことはあったが、大変より楽しいと思えた就職活動だった。
2位 苦		
神戸市外国語大学	外国語学部第二部	努力はしたが思うような結果を得ることができなかったため。
東京都立大学	経済経営学部	答えが無い、分からないことが想像以上に多く、苦しんだため。
東北学院大学	法学部	大学生活やアルバイトを犠牲にして就職活動に取り組んでいたため。
関西大学	文学部	選考で何度も落ちてしまい、自分に自信を持てなくなったから。長期化により、精神的なダメージも大きかった。
法政大学	文学部	就職活動の終わりが見えず、何度も苦しい思いをしたからである。
東北大学	薬学研究科	不採用のメールが届くたび、そして周りの友人の就職活動を終えた報告を聞くたびに苦しい気持ちになっていたから。
3位 耐		
亜細亜大学	法学部	耐えていれば良い結果が待っている。
早稲田大学	法学部	長期戦をどれだけ耐えて戦えるかが重要であったため。
熊本大学	自然科学教育部	研究等でしんどかった時期をどうにか耐え忍んだからこそ今の結果があると思うから。
千葉大学	工学部	選考に沢山落ちたが諦めずに頑張ったから。
東京大学	農学生命科学研究科	就職活動を始める前に想定していたよりも上手く行かず長引き、耐える期間が長かったため。
茨城大学	人文社会科学部	就職活動が長期にわたり精神的につらいこともかなりあったが、それを何とか乗り越えてきたため。
4位 忙		
金沢星稜大学	人間科学部	一日中就活について考えたり、面接、説明会をしている日が多くあり、多忙だと感じていたから。
広島大学	先進理工系科学研究科	研究と就職活動を同時に行うのがひたすら忙しかった。
千葉大学	融合理工学府	学業と就活の両立が忙しかったから。
成城大学	文芸学部	就活と大学とアルバイトなど、やることが多くて忙しかったため。
東京工業大学	環境・社会理工学院	とにかく授業や研究・アルバイト・サークルとの両立に悩んだ時期だった。時期によって優先順位をつけてメリハリをつけてこなした。
5位 努		
神奈川大学	経済学部	これまでの人生で最も粘り強く頑張ったから。
大手前大学	国際日本学部	早い時期からコツコツと努力をしたから。
東京家政学院大学	現代生活学部	努力をすることで掴み取った自分自身の未来だと感じるから。
名古屋大学	生命農学研究科	これまで努力してきたことや、就活中に努力した結果が最後に実を結んだと思ったから。
6位 辛		
大阪電気通信大学	総合情報学部	就活は大変で辛いものだったから。
愛知大学	法学部	元々自分をアピールしたり論理的に話したりすることが苦手なことで辛いことの連続だったから。
北星学園大学	経済学部	内定がもらえるまではずっと辛くなりながら就職活動をしていたため。
慶應義塾大学	理工学研究科	周りがインターンに受かって、自分だけ通らなかった時は辛かったです。

大学	学部	その漢字を選んだ理由
7位 迷		
関西学院大学	経済学部	最後まで業界、職種など自分の適性の判断が自信を持ってできなかったから。
金沢工業大学	工学研究科	就職活動の中で、何がしたいかどんな仕事をしたいか非常に迷っていたから。
京都女子大学	文学部	行きたいところに応募しながらも内心本当にいいのか迷っている。全然受からず迷走する。
皇學館大学	文学部	就職活動中、どの企業に就職するか決めては変更し、内々定を承諾した今もこれでいいのか迷っているから。
同志社女子大学	現代社会学部	内々定をもらった企業で就職先を迷っていたのですが、決断を終えた今でもこの判断が正しかったのか自信が持てずにいるから。
8位 疲		
早稲田大学	文化構想学部	とにかく体力が消耗した。もうやりたくない。
法政大学	法学部	長すぎて気を張りすぎて、身体的にも精神的にも疲れたから。
東京医科歯科大学	医歯学総合研究科	とにかく疲れた。就活準備もだし、学業(研究活動)にも力をいれたいのに時間がなく疲れた。
8位 挑		
福岡教育大学	教育学部	大学では専攻していない業界で働くことを決めたので、挑戦するという意味です。
甲南女子大学	人間科学部	自分で自分の限界を決めずに、どんどんチャレンジするという気持ちで60社ほどのインターンシップへ行ったから。
福岡大学	薬学部	勤務地を今まで住んだことがないところにするなど、挑戦することが多かったから。
10位 考		
中部大学	人文学部	就職活動中に自分のやりたいことやエントリーシートに書く内容など、考えることがたくさんあったため。
東京工業大学	工学院	自分で頭を使って考える時間が長かった気がする。誰かに言われた道やメソッドに惑わされず納得いくまで考え、その目標を実現したことは良かったと思う。
北海学園大学	経済学部	自分を見つめ直すことや自分のやりたいことなどを考え、自己分析を進めたり、自分が働きやすい企業や力を発揮できる企業はどこかを考えながら企業研究を行ったりして、たくさん考えて就活を行ったから。
10位 無		
関東学院大学	法学部	成長もしていないし、成功したとも感じず、なんとも思っていない状態であるから。
藤女子大学	文学部	何もしていないから。もっとまじめに取り組みばよかったと思う。
東京理科大学	理学部	就職活動はじめての時に無駄な行動が多かったため。

少数回答 ※1票のみの回答で、ユニークなもの

漢字	大学	学部	その漢字を選んだ理由
振	近畿大学	経営学部	就活の後期に差し掛かった時自分のこれまでの人生や人となりを振り返ってきたから。
結	滋賀県立大学	人間文化学部	自分が今まで取り組んできたこととこれからしたいことを結ぶための活動だった。
推	岐阜女子大学	文化創造学部	自分の好きなもの・好きなことをどの企業でも伝えていたからです。特にエンタメ企業での就職活動は自分の推し活への熱を全面にアピールしていました。
基	実践女子大学	生活科学部	学生生活を終えて、社会人として社会を支える立場になる基盤を作れたと感じるから。
揺	東京農業大学	地域環境科学部	初めは職種が定まっておらず、いくつかの業界の企業を調べていました。インターンシップでもどの仕事に向いているのか掴みきれず、揺れていたのがこの漢字にしました。
始	学習院大学	法学部	ある意味これから入社後が就職活動という準備期間を経てのスタートなんだという気持ちが強いため。
濃	立教大学	観光学部	迷ったり悩んだりして人生について考えさせられた濃い期間だったと感じるから。
標	佐賀大学	経済学部	接客をしたいという自分のやりたいこと、目標に気づくことができました。その結果、その目標が道標となり、就職活動に前向きに取り組むことができました。
勤	共立女子大学	家政学部	勤務地を一番大切にしていたから。
偉	愛知学院大学	心身科学部	自分の中で凄く頑張ったと思ったので、自分を褒める漢字にしました。
離	学習院大学	法学部	夢との決別、過去の自分が「らしさ」だと思い込んでいたアイデンティティとの離別など、あらゆる意味において「離れる」ことが多かった。
詰	江戸川大学	社会学部	就活が一番忙しい時期に、アルバイトを掛け持ちし始め、スケジュール帳に予定が詰まっていて空白がなかった。また、面接時に一つの質問を詰められたり、行き帰りの満員電車で詰めたりなど。
冬	武庫川女子大学	薬学研究科	冬に就職活動を終わることが出来たから。
繋	千葉大学	融合理工学府	就職活動において、人と人との繋がりはなくてはならないものだと感じたから。先輩に話を聞いたり、先輩がまた別の先輩を紹介してくれたりと、多くの方のお世話になった。また、インターンを通じて知り合った他大学の学生との繋がりも、就職活動が終わった現在でも大切にしたいと思っているから。
負	中京大学	工学部	とにかく負の感情が多かった。これで合っているのか不安になったり、就活に関して相談できる友人がおらず、親も今の就活のやり方は知らないで相談しにくいなど、1人で抱えることが多かったから。面接でも終わってから、これが言いたかったのに、余計なことを言ってしまった、言い方が悪かったなど、後悔することが多かった。
値	同志社大学	理工学研究科	あらゆる企業のイベントに参加することで様々な価値観に触れることができた期間であった。業界も様々で直接的に自身の就職活動に繋がったものばかりではないけど、何かは必ず得ている、参加したこと「値」するもので、自身を向上させてくれたものだと信じている。
友	広島大学	先進理工系科学研究科	友達がいなかったら就活はうまくいかなかったから。
旅	佐賀大学	農学部	面接地が住んでいる地域から遠く飛行機移動が多くあり旅行みたいだったから。
鍛	桐蔭横浜大学	スポーツ健康政策学部	忙しい、自分の将来を本気で悩んで考え抜いたので、とにかく体力も精神的にも鍛えられた。

■8: あなたの就職活動のテーマ曲は？

※17年卒は実施せず。14年卒、15年卒、16年卒、18年卒～24年卒と実施し、今回は11回目。

25年卒の就活生に「あなたの就職活動のテーマ曲」を挙げてもらったところ、Mrs. GREEN APPLEの「ケセラセラ」が昨年の4位から順位を上げ、1位に選ばれた。2位はサンボマスターの「できっこないを やらなくちゃ」、3位はゆずの「栄光の架橋」がランクインし、これらはたびたび上位にランクインする人気曲だ。曲を選んだ理由をみると、いずれの曲でも「元気づけられる」「励まされる」といった理由が多い。

※調査開始以来4回連続1位だった「負けしないで」(ZARD)を「就活ソングの殿堂入り」に認定し、それ以外の曲への投票とした。

25年卒(2024年) 就活のテーマ曲 トップ10

ランク	24年卒	23年卒	22年卒	21年卒	曲名	アーティスト名	得票率
1	4	-	-	-	「ケセラセラ」	Mrs. GREEN APPLE	4.21%
2	1	1	7	2	「できっこないを やらなくちゃ」	サンボマスター	2.46%
3	3	2	1	4	「栄光の架橋」	ゆず	1.43%
4	10	10	10	-	「ファイト！」	中島みゆき	1.11%
5	5	4	2	-	「群青」	YOASOBI	0.95%
6	7	7	4	5	「ファイトソング」	嵐	0.87%
6	8	8	8	10	「宿命」	Official髭男dism	0.87%
8	-	-	-	10	「明日も」	SHISHAMO	0.79%
8	-	-	-	-	「僕のこと」	Mrs. GREEN APPLE	0.79%
8	-	-	-	-	「青春の馬」	日向坂46	0.79%

大学	文理男女	その曲を選んだ理由	得票率
1位 「ケセラセラ」 Mrs. GREEN APPLE 得票率: 4.21%			
大阪電気通信大学	理系男子	「ケセラセラ」が「なるようになるさ」という意味だと知ってから面接1個1個を重く捉えすぎないようになれたから。	
愛知県立芸術大学	文系女子	「なるようになるのさ」「生まれ変わるならまた私だね」などの歌詞で、思い詰めつぎず前向きな気持ちを保つことができた。	
学習院大学	文系女子	インターンシップや面接の帰り道に聞くと希望が持てる。YouTubeに公開されているMVも色々な人が苦勞しているシーンや、希望を見出しているシーンがあり、つらいのは自分だけじゃない、みんな頑張っているのだという気持ちになる。	
宮崎公立大学	文系女子	面接前や移動中に聞いていた。	
福岡大学	理系女子	なんとかなる！という明るい気持ち、前向きな気持ちになった。	
2位 「できっこないを やらなくちゃ」 サンボマスター 得票率: 2.46%			
埼玉大学	理系男子	不安な時に勇気づけられる曲だから。	
高知工科大学	文系女子	就職活動でしんどい時に励まされたから。	
國學院大学	文系女子	自己分析が難しく感じたり、就活が嫌になったときに聴くと、前向きな歌詞に元気が出た。	
3位 「栄光の架橋」 ゆず 得票率: 1.43%			
中央大学	文系男子	就活で第一希望の会社に落ちてしまっ、泣いた日もありましたが、この曲を聴くと希望をもって、あきらめないでいようという気持ちで面接に臨むことができました。	
九州大学	理系男子	この曲を聴くと前向きになれるから。	
4位 「ファイト！」 中島みゆき 得票率: 1.11%			
名古屋大学	文系男子	CM流れてて耳に残った。	
常磐大学	文系女子	ファイトという歌詞を聞いて頑張ろうと思えるから。	
5位 「群青」 YOASOBI 得票率: 0.95%			
慶應義塾大学	文系女子	自分らしくいることの大切さを歌っているため。	
奈良教育大学	理系女子	才能がなくてもひたむきに努力を続けたいと思わせてくれる。	
6位 「ファイトソング」 嵐 得票率: 0.87%			
同志社大学	文系女子	曲名の通り鼓舞してくれるから。複雑な歌詞ではなく、平易な言葉で強く背中を押してくれる。底抜けに明るいのがいい。	
明星大学	理系女子	自分自身に対して「そのままでもいい」、「自分らしくもいい」と肯定してくれる歌詞が多くて、元気づけられているから。	
6位 「宿命」 Official髭男dism 得票率: 0.87%			
高崎健康福祉大学	理系男子	就職活動が将来の選択で重要であり、迷うことがあってもミスをしたときもそれもまた成長に繋がると考えたから。	
8位 「明日も」 SHISHAMO 得票率: 0.79%			
京都大学	文系女子	聞くと前向きな気持ちになって頑張れた。	
8位 「僕のこと」 Mrs. GREEN APPLE 得票率: 0.79%			
武庫川女子大学	理系女子	自分に自信がなくなってしまう時でも、この曲を聴くともう少し頑張ろうと励ましてもらえるから。	
8位 「青春の馬」 日向坂46 得票率: 0.79%			
日本大学	理系女子	大学受験期にもお世話になった曲。励まされる。	

■9:あなたの就活をドラマ化するなら主演はこの人ランキング

※敬称略

就職活動の主人公だった自分自身を誰に演じてもらいたいかが聞いたところ、1位は男子の1位は「菅田将暉」さん、女子の1位は「永野芽郁」さんで、どちらも4年連続の1位に輝いた。演じてほしい自分の就活のシーンでは、思い悩む主人公に差し伸べられた友人や恋人、家族の救いの手や、就活仲間や人事担当、面接官との出会い、就活中に窮地に陥ったところを機転により切り抜けたことなど、さまざまなエピソードが語られていた。内々定を辞退する場面や複数の内々定先で悩むといったエピソードは、複数内々定を得た学生が多かった25年卒の学生らしい。今年の就活でもそれぞれに多くのドラマが生まれていたよう

24年卒(2023年) あなたの就活をドラマ化するなら主演はこの人ランキング BEST10

ランク	前年	男子・主演	得票率	ランク	前年	女子・主演	得票率	ランク	文系男子・主演
1	1	菅田将暉	5.18%	1	1	永野芽郁	4.67%	1	菅田将暉
								2	藤原竜也
2	7	星野源	3.38%	2	2	浜辺美波	3.44%	3	神木隆之介・鈴木亮平・ムロツヨシ・佐藤健・吉沢亮・鈴木福
								ランク	理系男子・主演
3	3	藤原竜也	3.15%	3	4	有村架純	3.32%	1	星野源
								2	菅田将暉
4	10	ムロツヨシ	2.70%	4	7	上白石萌音	3.08%	3	藤原竜也
								ランク	文系女子・主演
5	9	佐藤健	2.48%	5	-	小芝風花	1.85%	1	永野芽郁
								2	有村架純
6	-	神木隆之介	2.25%	6	10	橋本環奈	1.72%	3	浜辺美波
7	-	吉沢亮	1.80%	7	3	伊藤沙莉	1.60%	ランク	理系女子・主演
7	-	鈴木福	1.80%	7	8	森七菜	1.60%	1	浜辺美波
9	-	竹内涼真	1.35%	7	9	清原果耶	1.60%	2	上白石萌音
9	10	濱田岳	1.35%	7	-	杉咲花	1.60%	2	永野芽郁

★男子学生編: BEST10の俳優の主演ドラマで、演じてほしい自分の就活のシーン

1位 主演:	菅田将暉	得票率:	5.18%
共演者(役柄)	演じてほしい自分の就活のシーン	大学	文理男女
有村架純(就活生)	最終面接で集団面接を受けているシーン。	金沢星稜大学	文系男子
山崎賢人(刺激し合うライバル)	結果が出なかったつらい時期を、自分と向き合いながら乗り越えていく、毎日を過ごすシーン。	千葉大学	文系男子
2位 主演:	星野源	得票率:	3.38%
新垣結衣(恋人)	インターンシップ選考に苦しみながらも、なんとか前へと歩もうとする姿。	龍谷大学	文系男子
ピエール瀧(面接官)	圧迫面接。	千葉大学	理系男子
3位 主演:	藤原竜也	得票率:	3.15%
ビートたけし(定年退職者)	今までに負けに負け、就活など何もしなかった藤原竜也にビートたけしが今までの後悔をもとに社会人として必要なことを教えるワンシーン。	日本福祉大学	文系男子
なし	企業の面接を受けるため、新幹線とローカル電鉄を乗り継いで向かうシーン。	大阪大学	理系男子
4位 主演:	ムロツヨシ	得票率:	2.70%
山田孝之(子ども役)	就活が中々うまく行かず、落ちてばかりの子どもに親が慰めるシーンです。	大阪学院大学	文系男子
5位 主演:	佐藤健	得票率:	2.48%
菅田将暉(友人)	自分の進路が定まらず、焦りと周りと比較してしまい何かもやもやしてしまう感情を表現して欲しい。	琉球大学	理系男子
6位 主演:	神木隆之介	得票率:	2.25%
松岡茉優(恋人)	インターン中でのワークで協働し、発表するシーン。神木くんが学生や社員さんたちとの間で、もがき苦しみ、その後、松岡茉優と仲良くなって飲みに行くまでを演じて欲しい。	中央大学	文系男子
7位 主演:	吉沢亮	得票率:	1.80%
水ト麻美(人事担当者)	就活の中で人事担当者ときどき会い、内定後の面談で再開するシーン。	島根大学	文系男子
7位 主演:	鈴木福	得票率:	1.80%
芦田愛菜(就職活動における圧倒的強者)	他の研究室に所属している同期の就活状況を聞いたとき。あまりの功績に衝撃を受けたが、自分は自分だからなと立ち直るシーン。	名古屋大学	理系男子
9位 主演:	竹内涼真	得票率:	1.35%
木村拓哉(ライバル)	前向きになるシーン。	福岡大学	文系男子
9位 主演:	濱田岳	得票率:	1.35%
反町隆史(優しい先輩)	最初の内定を頂いたところ。	東邦大学	理系男子

★女子学生編: BEST10の俳優の主演ドラマで、演じてほしい自分の就活のシーン

1位 主演: 永野芽郁		得票率: 4.67%
共演者(役柄)	演じてほしい自分の就活のシーン	大学
宮崎美子 (お母さん)	お母さんと進路についてもめるところ。	近畿大学
石田ゆり子 (面接官)	オンライン面接でギリギリまで準備していたのに、思っていたことを話さなくて悔しい思いをした場面。	実践女子大学
山本舞香 (研究室の先輩)	先輩に面接練習を手伝ってもらい、褒めながらアドバイスをもらうシーン。	群馬大学
2位 主演: 浜辺美波		得票率: 3.44%
橋本環奈 (友人)	飲み屋で就活お疲れパーティ。	名城大学
永野めい (相談相手)	自分の興味のある企業を決めることができなくて悩んでいる時に相談に乗ってくれる。	信州大学
3位 主演: 有村架純		得票率: 3.32%
菅田将暉 (同じ目標を持って切磋琢磨できる仲間)	自分で抱え込まないように適宜相談に乗ってくれて、前向きに就職活動が出来るように声をかけてくれるシーン。	山形大学
伊藤淳史 (学内講座の講師)	直前まで筆記や面接練習をしているところ。	大東文化大学
山崎賢人 (恋人)	電話で恋人に元気づけられているシーン。	北海学園大学
4位 主演: 上白石萌音		得票率: 3.08%
なし	机で自分史をかくところ。	愛知大学
5位 主演: 小芝風花		得票率: 1.85%
柳楽優弥 (採用担当者)	最後に内々定を電話で断るシーン。	北星学園大学
6位 主演: 橋本環奈		得票率: 1.72%
ムロツヨシ (第一志望の会社の人事の人)	笑顔で優しく話しかけて下さり志望度が高まったと共に元気が出たので、そのシーンを演じてほしい。	広島大学
7位 主演: 伊藤沙莉		得票率: 1.60%
前田敦子 (励ましてくれる友人)	毎日ダラダラしていたとかにやる気になる場面。	神奈川大学
趣里 (なんでも早く終わらせる友人)	第1志望の企業に諦めずに何回も頑張るところ。	成城大学
7位 主演: 森七菜		得票率: 1.60%
石田ゆり子 (キャリアセンターの方)	大学のキャリアセンターでの相談シーン。	法政大学
7位 主演: 清原果耶		得票率: 1.60%
江口のりこ (面接官)	対面面接において面接官に、全く予期していなかったが、とても鋭い質問をされたシーン。	早稲田大学
7位 主演: 杉咲花		得票率: 1.60%
清原果耶 (サークルの先輩)	サークルの先輩と、就活の相談を先生と一緒にしに行ったり、先輩に日経新聞の読み方、ノートの書き方などを教えてもらった。	県立広島大学

★ランク外: BEST10以外の配役で、演じてほしい自分の就活のシーン

主演(自分)	共演者(役柄)	演じてほしい自分の就活のシーン	文理男女
染谷翔太	岸井ゆきの (就職支援センターの担当者)	就職支援センターの人と何度も面接練習に取り組んだシーン。	文系男子
高橋文哉	福原遥 (相談役)	内定先2社から1社を絞る際に、相談役である福原遥に相談したところ、自分が何をやりたいか、その仕事は休日とれるのかなど、良いアドバイスをもらったことで1社に絞れたシーン。休日は相談役福原遥と飲みに行ったり、遊びに行くシーンが想像できる。	理系男子
山田孝之	仲村トオル (自習先の先生)	先生との面談で自分の進路をもう一度見つめ直し、博士課程への進学を決めたから。	理系男子
岸井ゆきの	安藤サクラ (母親)	「家に帰って一体何のために就職活動をしているのかわからない」と母親に愚痴っているシーン。	文系女子
桜田ひより	永野芽郁 (集団面接の時、一緒に面接を受けた人)	集団面接で私はあまり答えられないことに対し、もう1人の子はハキハキと答えているシーン。	文系女子
川口春奈	なし	面接で失敗して帰宅した後、クッションに八つ当たりするシーン。	文系女子
出口夏希	福原遥 (集団面接で一緒になった就活生)	集団面接前に、就活生だけで話して緊張をほぐす時間があつたので、そこで話しかけて緊張をほぐしてくれたシーンを演じてほしい。	文系女子
古川琴音	岡山天音 (同時期に就活をしていた弟)	内定が決まった後に、就活の軸の一つであった望みの勤務地とライフワークバランスが良い会社へ入社を決めるか、激務で給料は良くないが子供の頃からの夢だった会社に入社するか悩むシーン。	理系女子
指原莉乃	堺雅人 (インターン先の部長)	誘っていただいた飲み会で、インターン先(来年からの就職先)の企業の良いところ、悪いところ、今後社員に求める姿勢をお話して頂いた。この時に、この企業を目指して間違いはなかったと確信した。	理系女子
土居志央梨	高嶋ちさ子 (母親)	母親によく話を聞いてもらいディスカッションすることで頭を整理して面接に臨んでいたため、そのシーンを再現してもらいたい。	理系女子